京城日報

二十一日夕刊

本紙定價 一部金二錢五厘 一ヶ月金五拾錢(郵送料前金)一ヶ月金六拾五錢 三ヶ月金壹圓九拾錢 六ヶ月金三圓… ▲郵券代用二割增

廣告料 ▲五號活字一行金七拾錢 ▲鮮欄內一行金一圓 ▲場所指定一行金拾錢增 ▲三號活字の一行は二號活字同樣 ▲六號活字の一行は五號活字同樣の事

發行兼編輯人 奥田西般 印刷人 窪口改太郎

發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社 電話(編輯)長三四五番 一二一四番 (營業)長二六六〇番 振替貯金口座京城三〇〇番

雜報

●蒙人懐柔一策

內務部、陸軍部、蒙藏院の合議に依り蒙古人に漢人同樣內地官吏たり得べき途を開かんとの建議をなし去る五月四日大總統の認可を經たるが十一月二十九日に至り政府公報を以て蒙人文武官吏甄別試驗規程公布せられたるが効果の大小は別とし蒙人懐柔の一策として注意すべし(北京)

●東蒙二機關設置

支那中央政府は東三省を特別省區に改むると共に東蒙古方面の施政にも一改善を加ふべく目下その官制の編成中なるが東蒙古には墾殖を指導奬勵する機關として墾務局治安維持及び移民取締の爲め警務處を特設し以て墾耕移民の普及發達を期する由にて此の二機關は東三省特別官制施行と同時に設置さるべしと(奉天)

●四鄭線借款決定

滿蒙五鐵道借款契約中四平街鄭家屯間約五十二哩に亘る鐵道は北京に於て支那政府と日本側との協議纒り近く借款契約に調印すべく決定したるが右は主として正金銀行其の衝に當り敷設費は全部正金より支出することゝなり居れるを以て滿鐵としては何等之に與り居らずと雖も同鐵道は滿鐵と密接なる關係を有するにより愈々敷設工事に着手する場合に至らば何等かの協定をなさゞる可らざるは明かにして殊に借款鐵道として資本主に於て技師長を任命し敷設材料を供給する等の利權を有するものなれば調印後に於て更に正金と滿鐵との協議に移るべしと(大連)

●滿鐵山東連絡

滿鐵及び山東鐵道との間に社船を運轉し貨客を聯絡輸送すべく兩鐵道當事者間に協議中なることは既報せしが滿鐵に於ける提出條件は既に決定したるも山鐵側に於て之に對し不同意の點あるを以て北田山鐵營業課長は直接協定をなすべく目下來連中なるが聞く處に依れば山東鐵道の運賃は總て銀建となり居るにより相場の變動に伴ひ運賃計算上種々の不便あれば荷物聯絡には兩鐵道共自己鐵道の範圍內のみの運賃を徴し其他は著拂とすべく協定せしもの如く旅客運賃に關しては今尚相談纒らざれども相場變動の危險は兩者の負擔とすべきことに協定を進めつゝありといへば何れ兩三日中に何分の決定を見るに至るべく尚上海山鐵間の聯絡も亦此際實行せらるべしと(大連)

空前の格闘戰

東京支局 一記者

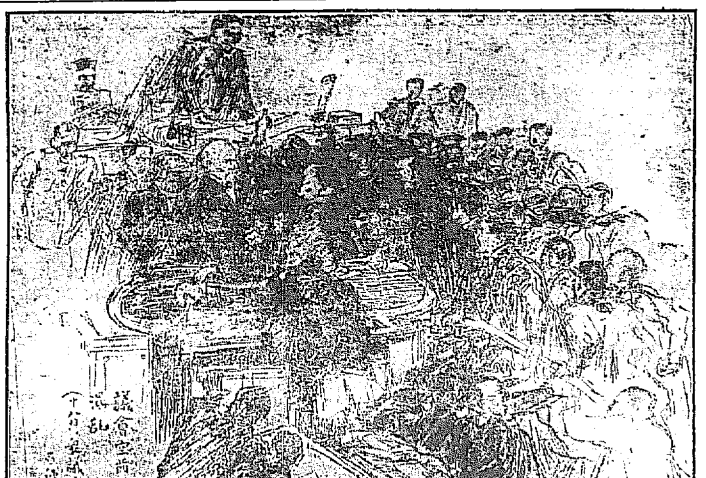
現內閣彈劾の第一彈が投せられた十八日、大隈首相防戰の矢面に立つて共に敬重う——咳一咳『閲歴ッ——手腕——ん』する原敬君の決議案提出を遺憾とするのである』の打ち出しは無難であつたが、其の長廣舌が漸く熱度を加へて來て『殊に其の——責任論は殆んど君主權を犯すッ』と大喝した刹那、野黨の全員は忽ち鼎沸して突嗟に殺氣立ち期せずして齊しく蹶起した、武藤金吉君猿の如くすら〳〵と右方の階段から壇上に馳せ登る、續て秦豐助、土屋安太郎、小橋藻三衞、岩本平藏、齋藤珪次の諸君一齊に怒號しながら武藤金君の後を逐ふ、秦君が議長に肉薄すると見る間に武藤金君卓を連打して首相の草稿を攫み取りながら亢奮し切つた蒼白い雙頬を顫はせて絶叫する、一歩遲れて左方の階段を一氣に飛躍して登りつめた富田幸次郎君双腕に力を罩めて秦君を亂打して亂闘摶擊の第一打を開く、首相危しと見てとつた山崎秘書官蹌踉として中心を失はんとする首相の兩脇を挽へ込んで議長席の右側へ避難する、首相は故らに莞爾として頻りに笑顔を示す、富田君は群がり森めく野黨の面々に亂打されながら曳き降される、鳩山一郎君二段の柔道で當るを幸ひ薙ぎ立てると速記席の獨紙が木の葉のやうにバラ〳〵と散る、議長の背面から奇襲した岩本平藏君は忽ち議長を椅子から曳き降し、小林源藏君は大童の肌脱きになつて守衞と格闘する正に是れ議會史上空前にして恐らくまた絶後たらしめざるべからざる大混亂であつた(十八日夜記)

●間島年末市況

打續く不景氣は收穫後に至りても何等の變化なく日鮮商を通じて不景氣の極度に達せり故に金融市場は意外に逼迫し市況頓と振はざるは昨年の其れに異ならざれども本年は大豆及び粟の出荷を見るに及び鱗出商は多少愁眉を開き居れり粟は朝鮮桝一斗約三十二三錢程度にありて昨年今日此頃の相場に比し四五錢の安値にて市場粟は潤澤なるが如し(間島)

●實業家親睦會

京城商業會議所評議員の親睦會は二十日午後六時半より花月に於て開會したるが來會者二十有八名にして幹事の斡旋宜しく韓相龍氏は流暢なる日本語を以て內鮮實業家の提携は時代の要求なり須く努力せざる可からずと述べ一同に尠なからぬ感動を與へ斯くて宴を開き十數名の美妓酒間に接待し各自十二分の歡を盡し九時半散會す



=彈劾案附議當日の亂狀=

□□□□□ 評議員會餘滴 △此處喜劇の一幕▽

評議員となつて始めての總會とて開會通告時間通り正直に出席した議員も數名あつたは道に殊勝なもの▲開會匆々古城君等は何の資格で此席へ在りやと茶々を入れ發起席に控へたる樹老人や大村君に向つて早く議席を定めろッと迫る▲すつたもんだの揚句に議席が定まつたのを見ると二十四人の內地人の中に六人の鮮人が彼方に一人此方に二人と云ふ配列▲洪在柱君、趙鎭泰君と二人列んだ横に林茂八郎君が陣取ると林君早速「私は日本麥酒會社の林ですが……」と外交術上出來々々▲韓相龍君と釘本藤次郎君とは御隣同志で仲よくしませうねと云つた風に低聲喃々▲今度の評議員の內での名物は韓相龍君の日本語と藤田安之進君の雙璧と增田三穗君の髭と林田金次郎君の禿頭と釘本藤次郎君の朝鮮語と位だらう▲それにまだも加ふれば岡、高木、佐野の三君が達磨の樣な肉肥の體で御隣から『君もう少しそつちに行つて呉れ給へ』と云はれ通しだ▲副會頭の選擧の時に投票數を數へて見ると二十六人の出席議員に對し二十七票あり結局無効遣直しと云ふ所になつた▲すると全部の投票を集めた時に少し後から高木君がとにもかくに一票殘つて居ましたと差出した一票がある▲今一應其投票を檢べて見ると何のこつちやい反古を捻つた紙切れと知れて一同口アングリ▲副會頭選擧に就ては當日議事を開く前迄候補者が決定しなかつたため西村君と岡君との得票數が却々危い所であつた▲次の役員選擧では單記無記名と云ふ馬鹿に手數の掛ることゝて▲一度に行つて終へと云ふ者もあり定款が許さぬと云ふ者もあり容易に決する所がなかつたが▲結局林田、釘本と韓の四君に當選して何人も當選疑ひなしと思つた天日君が出なかつたのは非常に殘念である▲役員選擧が之れで全部終了したと座長席から宣言すると▲藤田君が座長懲罰委員は如何ですかと質問するとそんなものは今選擧するもんではありませんと云はれあゝそうか〳〵はよかつた▲以上の手續が濟むと西村君が副會頭で議長席に代理を勸めることゝなる▲副會頭は嫌だと仰しやつたと聞いて居たが餘り惡い氣持もせぬと見えニコリ〳〵▲西村君も場所柄馴れぬと見えて議長自ら議長席で意見を述べたりして天日君から熱い所を一本▲まあ〳〵こんな具合で豫定の議事を進行して散會したは目出度〳〵

●大阪より

▲對支利權問題 渤黄漁業會社は渤海黄海の兩沿岸に於て漁業を經營し其の漁魚は凡て鹽魚として一般支那人の需用に供給するものにて現在事業船四隻の外更に五百噸級一隻の新造中なりと同社の右の兩漁場は即ち鴨綠江上海間に直徑一線を畫し其の北部方面沿岸に於ける漁魚以外棧橋其他凡て建造物をなし得べき權利を有し元天津の紳民公司が當時支那政府より此の權利を獲得せしを其後內地の三谷某氏等の手に轉じ居たるを會社が二十五萬七千圓にて買收したるものなりと近來支那政府は窃に權利買收上の內意を洩らし來りしやうなれども同社重役は其權利は他日對支問題上我國必要の事に屬すとて斷然之に應ぜざる決心なりと因に同社は大阪瓦町四丁目に本社を置き資本金三十五萬圓拂込濟にて岡口嘉藏氏社長に西原澤吉氏專務たり

▲製造補助運動 大阪工業會社は製鐵補助に關し委員東上して運動中の處歸阪役員會を開きて其經過を報告し更に或方面に運動の爲め東上せり其目的は近來露國より軍需品の注文續出せるを以て枝光製鐵所其他二三の製鐵のみにては不足に付相當設備の一般製鐵工場に政府より補助金を得んとするものにて大運動奏功の上は大阪に製鐵工場を設立せんとの內議ありと

▲捕鯨合同問題 東洋捕鯨を中心とせる內地七捕鯨會社の大合同は交涉進捗し內外水産も亦是に一旦は重役會の決議を以て現在二隻の所有事業船を約十八萬圓にて讓渡し同時に合同する事となり居れるに他の捕鯨會社が二隻の船價を約二十萬圓と評價せし實例もあればとて個々非合同說を起し結局會社は內實收支上不成績の經過を見つゝあれども此際一層經費を約し內容を改善し獨立經營するに歸着し今回前の決議を取消し直に其旨東洋捕鯨へ通牒したるを以て東洋捕鯨は頃日更に重役會を催して善後策を協議すと

▲綿糸輸出好望 本年の支那産棉花は近來になき不作のため支那糸は本邦品に比し割高にあり印度地方も英本國よりの輸入困難なるより日本糸を歡迎するの傾向ありて同方面の輸出も漸次增加しつゝある際なれば當業者は適當の輸出奬勵策を講究し此機に乘じ支那糸を壓倒し更に印度南洋方面に勢力を扶植するに最も好機會なりと云へり

▲露國軍靴納期 過般陸軍省の斡旋にて露國軍用靴六十萬足は大倉組より東京の大塚岩次郎氏に十六萬足同櫻組に二萬足にて別に兩者より復請負にて日本製靴に製造せしむる事となりたるやの說あれば日本製靴は少くとも四十萬足の製造に追はるる事となり非常の繁忙を呈しつゝあるも由なるが右露國製品の納期は來年四月末日限りと約定せりと(支局發)

南言北語

何んでも十八日の日比谷座では未曾有の大芝居があつたと云ふ大評判だ▲イヤ何うも恐れ入つた平生諸君は言論の權威だとか神聖だとか云つて居たが其のざまは何んだ之れぢや國民の選良も恐縮するが此手合に大枚二千圓もやつて置くのは惜しいものだ▲一層其の金で精神入れ代へ病院でも建てゝ最少し健全な精神を養つてやりたいナア▲大隈首相の脫線も餘り珍らしくはないが十八日議場の脫線はチト酷ひ、だから手ひどい目に遇つた▲而し眞個の脫線なら演說草稿をもちやくられて腕を揉られた計りや終なかつたらう大事の〳〵一本も危なかつたのにマア彼れ丈けで仕合▲議會の脫線はまあ宜いとして對支外交などで脫線された日には愈々以て大變だ▲ソレまで〳〵して居ると亞細亞日報などは外交團は今や皆誤解なく勸告主動の某國亦漸く方針を變ずんて暗に日本も帝政承認だと嘲罵的口調を以て云つて居る▲其の樣な事はない筈だがと首を捻つて見ても石井外相ぢやないが外交は事秘密多しだから何んなになつて居るか知れぬ▲例へば首相が失言でも僅かな事で揉り合ひなんかやらずに斯う云ふ處を能く突き止めて國民に安心を與へて貰ひたいね二千圓の喧嘩は小々高過ぎる▲兎角年末は世間が物騒になる泥棒や強盗が出沒する火事がある國民の選良が首相と喧嘩をして議員の揉り合ひがある▲と、云つて物騒なは日本許りぢやない支那でも廣東では將軍府に爆藥を埋めて將軍を暗殺しようとし上海では新聞社へ爆彈を投じたものがあるとか▲北京の背後を狙つて居る八ト札一部下一萬の匪賊は討匪軍の主將姜桂題が辭去したので一擧に北京を衝かんとして居るイヤ物騷も大物騷な〳〵

次韵寄無佛道契乞政 牧雲草

悠々八世幾榮枯漠々荒煙晩氣孤落木
徒看天邊大燈前安得醉吟娛

歐米東京共電報不著

世界的知識の淵叢=進歩的社會教育機關

大日本文明協會

會長 伯爵 大隈重信
編輯長 法學博士 浮田和民
理事長 市島謙吉
編輯顧問 十九博士五大家

創設以來七年有半國際的學術普及機關として我學界に多大の功績を齎せる本會は今や時局に鑑み今上陛下御大典奉祝記念事業として根本より組織を一變し永久的發展の計畫を立て茲に之を發表するの機會に到達せり卽ち今後一層堅固なる基礎の上に益々世界的知識の普及を謀り文明國民に日新必須の精神的糧食を供給し以て進歩的教育の任に當らんことを期す篤學の士並に一般修養を念とする國民は速に來つて本會に就け。

會員募集

略則
每月一卷宛刊行(四六新型上製)紙數各卷大約四百五十頁
會費 通常 每月(前納)金一圓也 半年(前納)金五圓五十錢 一年(前納)金十圓也
特別 每月金一圓五十錢 半年金八圓二十五錢 一年金十五圓也
月納會員は別に入會金一圓也

會則詳細趣意書並に會員申込に限り特典あり至急會則御請求あれ!

送呈

東京市麹町區元園町一丁目二十二番地 大日本文明協會 電話番町一五四番・二五二番 振替貯金口座二一八九〇二番

內科 小兒科 京城日出小學校前 多々見醫院 入院隨意 院主 醫學得業士 多々見五郎 電話九四〇番

藥の苦味無くて强壯の効絶大
酒精分無くして葡萄酒以上の味
一夕の一杯は精力を强む
一朝の一杯は元氣を增す
フェロール
家庭醫 適應症 ◎老衰肺病 ◎肋膜神經 ◎消化不良 ◎營養不良 ◎貧血諸症 ◎產後病後
定價 ▲大瓶壹圓五拾錢 ▲小瓶八拾錢 ◎發賣は各藥店にあり
創業元大阪道修町 藥種商 小西久兵衛

特色ある婦人之友社の子供雜誌と少女雜誌新年號

子供之友
○子供を喜ばせ子供を賢くする唯一無二の教育的繪雜誌
新年大附錄 甲子上太郎双六(丙子下太郎が乙子中太郎になり甲子上太郎になつて上る家庭教育双六)
○繪畫の趣向記事の工夫按排すべて興味と知識の無盡藏

新少女
○私達は自分の嫌ひな人にも親切をしなければならないでせうか 羽仁もと子
○歷史物語 日本戀ひしや(河井醉茗)◎私の見たる少女(與謝野晶子)◎長篇小說 二つの星(村山元子)
新年大附錄=家族双六(お父さんにお母さん花子さんに太郎さん猫のお玉に犬のポチ誰が先に上るでせう) 竹久夢二
○少女喜劇 鬼の面と母の面(宇野浩二)◎ニックルベー物語(松岡久子)◎少女家事かるた會(島木久惠)
○姉さんの安產を何ういつて祝つてやつたらよいか(電報文の懸賞募集)賞品(數百名)投書用紙は本號に有

子供之友 定價拾錢 郵稅一錢 半年分稅共六十錢 ■ 新少女 定價拾錢 稅一錢 半年稅共六十五錢 ■ 振替東京一一六〇〇 東京雜司ケ谷 婦人之友社

雪の日

◎八年振りで巴里へ
鹿島丸甲板上にて＝松井駐佛大使談

駐佛特命全權大使松井慶四郎氏はてる子夫人及び令息令孃並に鹿子木孟郎畫伯と共に二十日午前十時神戸出帆の鹿島丸にて渡佛せり大使は出帆に先ち記者に語る處左の如し（大阪支局記者）

巴里へは八年振ですよ、以前に參事官として一年餘り居たことがあるがその時分とは時代も變り殊に戰時中であるから

□市街の樣子も

全く異つて居ると思ふ、何でも飛行機の襲來を避くる爲め夜は電燈も暗くするし、劇場や興業物なども休んで居る全く戰時の狀態であるから平生に見るやうな華やかな巴里的色彩は見られないでせう殊に遊覽の都を以て任じて居る巴里に他國からの遊覽客が全く其跡を絕つてホテルの如きも僅かな客を

□値段を安くし

て引ッ張り合すると云ふ有樣であるから市街の寂寥は實に豫想以外であらうと思ふ、歐洲戰亂が何うなるか誰しも之が判斷に苦しむ處であるが自分の見る所では未だ容易に終局を告ぐるに至らないだらうと思ふ、獨逸の强敵である事は今更云ふまでもないが最早や今日となると單純な武力や金力ばかりの問題ではない、武力金力は素よりであるが人口の多寡、生產の關係等凡ゆる

□國力全體を擧

ての競爭である、此國力の競爭に勝つたものが最後の勝利を制する譯である、聯合國側は兵力に於ては弱いやうに見えるやうであるが國內で生產をなし貿易を行ひつゝ持久的に戰爭を續けて居るのであるから國力は未だ〳〵疲弊しない、獨逸は武力に於ては强いやうであるが中立國を經て僅に貿易を行つて居るばかりで國內の生產は殆んど杜絕の有樣であるから內部は

□案外に疲弊し

て居るであらうと思はれる、從つて機會さへあれば成るべく有利な條件で媾和をしたいと云ふ者へで居ることは首相抔の演說にもほの見て居る而して現在の樣に双方共大した勝負のない間は容易に媾和の機會もなからうと思ふ、日本でさへ十五億の外債を脊負つて一年半も露國と戰つたのであるから彼等

□大國の國力を

以てし之れに十倍する百五十億や二百億の軍費を賭して戰ふことは譯なからうと思はれる、從つて今次の戰爭が二年や三年續いたとて必ずしも長いとは云へないのである戰後の外交關係は世界の大問題で日本に於ても一旦獨逸を敵として戰つた以上直接間接に聯合國の聲援をなし（出兵論の如きは勿論採るに足らぬが）聯合國をして

□最後の勝利を

得せしめたいもので又得せしめねばならぬのである過般發表せられた倫敦宣言に日本が加盟したのも畢竟此の意味に外ならぬのである此五國宣言によつて聯合國側の友盟を鞏固にし最後まで奮鬪を續けると云ふ大決心を世界に宣示した譯であるから、聯合國側にとつては士氣を皷舞し敵國にとつては一の

□威力を示し得

た効力のある事を疑はないのである是を以て英國の道具に使はれるなど云ふのは殊更に貶さんとする者の言である支那帝政問題も如何にも順調に進んで國內唯一人反對者なく今にも正式に實現せられさうにも見えるが由來支那の外交程當てにならぬものはなく帝政派に都合のよい事ばかりが多く傳へられ

□惡い事は秘し

て發表しないと云ふ方針を採りて居るのであるから帝政實現の曉果して何等の不平なく騷亂なく平和の間に治績を擧げて行く事が出來るであらうか、頗る疑問である、不平者があつても其力の足らざる所から沈默を守つて居るが、何か機會さへあらば爆發するの恐れがあるから日本は飽まで監視の態度を採り、萬一の場合日本の利權を擁護することに注意せねばならぬと思ふのである

◎生膽取りの毒手に罹る
憎む可き支那人

六神丸の製藥分子中に人間の生膽を混じありとは一般に信せられつゝある所なるが過般來此目的を以て長崎市在住の兒童數名支那人の手に依りて上海方面に送られたりと風說高まりたれば其筋に於ても由々しき大事件なりとし苦心探査の結果十六日長崎にて有力なる嫌疑者を檢擧し引續き嚴重取調中なり、因に此戰慄すべき大事件は頗る大仕掛に行はれたるものにて共犯者も從つて多く目下尙ほ其筋に於て大活動を試みつゝあるが邦人兒童中既に彼等の毒手に罹り非業の最後を遂げたる者も少からざる模樣なりと（門司）

◎舞鶴疑獄
御用商人と結托

舞鶴海軍工廠部內に於て御用受負商人と不正官吏の結託せる大疑獄事件暴露せる模樣にて所轄舞鶴海軍々法會議に於ては高島主理主任となり舞鶴憲兵分隊及び舞鶴警察署の手にて過日來極秘の裡に大活動を開始して海軍部內の工事關係吏員及び余部町の御用受負長村組こと平木平太郎其他續々召喚取調を受け家宅搜査を續行されつゝあるが事件の內容は極めて秘密に附せらるゝも昨年七月若狹小濱に於ける故佐久間大尉の銅像建設工事其他今春海軍魚雷發射場及び無線電信所等の新設工事に當る御用商人と結託して多額の宥金を掠めし事實暴露せしもの如く取調の進行と共に一層擴大す可き模樣也（大阪）

◎北濱事件
二萬頁の記錄

大阪地方裁判所に於て豫審終結したる元北濱銀行頭取岩下淸周氏以下小塚正一郎、永田陽太郎、中西萬藏、宮田賴寛、熊谷常松氏の六名に係る北銀事件の一件記錄は一冊無慮八百頁の大冊にて二十五冊に達し總頁數約二萬頁と云ふ大阪裁判所開設以來實に空前の大記錄なるが此記錄は藤井竹田兩豫審判事で引受け謄寫中なりしが本月中には全部出來上るべし、併して公判開廷は最初裁判所に於ては成るべく年內にとの豫定なりしも記錄の未完成と關係辯護士の都合上其儘となり居たるが記錄も本月中に完成せば公判は愈々來春早々開廷の運びに至るべく右事件に關係の在阪辯護士は十九日會合を催し裁判所よりの依賴に應じ開廷期日の協議をなしたり其結果一月二十日より七日間と決定し早速其旨裁判所に通知したるが裁判所に於て差支なき限り多分同期日を採用さるべしと尙ほ公判開廷と同時に四方田外數名の辯護士より損害賠償の附帶訴訟を提起すべしと（大阪支局）

◎雪は降つても
暖かい

初雪や梅の足跡犬の花、廿一日午前六時卅分から降り出した雪は今年の冬に入つて以來二回目の雪らしい雪であつた、尤も測候所の調べによると今年の冬に入つて以來既に九回目の降雪であるが今度のは最も師走らしい氣分を見せて午前十時までの深さが約六七分、街も南山も北漢山も眞白になつたのは氣持がよい、溫度は又莫迦に暖かい四溫日和で廿一日午前六時が零度以上七分を示し例年の平均溫度より約六度許りも暖かである、此の原因は廿日午前以來蒙古方面に現れた低氣壓が漸次朝鮮に向つて接近し來り廿一日午前六時には黃海の眞中に襲來したので朝鮮の西部一帶並に滿洲の大連地方は暖かい南風がそよ〳〵と吹き出し殊に艶岩油の如きは珍らしくも雨を降らした程である、尙ほ西鮮一帶は廿日廿一日にかけて一般に曇天で暖かであるが廿二日頃から又蒙古大陸に高氣壓が起るから三寒の寒さとなるだらう

◎五日間の取扱
數一萬六千
好景氣の反影

好景氣に大人氣だと云ふ證據はそこにもこゝにも事實となつて現れて居るが京城郵便局が十五日から開始した年賀郵便物の特別取扱を開いて見ると果してこゝにも亦大景氣の反影がちやんと舞込んで居る昨年の總計で見ると十五日から十九日迄の五日間の取扱ひ數は八千六百十六であつたが今年の同期間の取扱ひ數は實に一萬六千六百三十四と云ふ殆んど倍數に近い程のものである一つには御客へ旅館邊りから又內地其他から來た共進會なんかで一年より多いためであらうけれども一般に好人氣で普通なら極々の義理合な方面への年賀狀をも今年はウンと發して知己友人に總花主義で一年中の御無沙汰を謝すと云ふ人が多い樣だと

◎集金人水道料金を橫領す

宮崎縣南那珂郡東原村生れ當時京城泉町居住平部熊彥(二三)は大正三年五月三十日より大正四年五月二十七日迄の間に水道係に臨時雇として來り水道料未納者に對する督促停水處分等の事に從事中其處分の爲め他出元町金田もと外四十四名方に立越したる際停水處分を免るゝ爲め便宜給水料の納入手續きを依賴され合計金五百六十六圓四十五錢の交付を受け其中十五名分の金額約百三十四圓六十四錢のみ係員に交付して納入の手續を濟まし殘りたる金額四百三十一圓八十一錢を右の期間中に橫領し京城府に於て悉く消費し尙料金の取立に際し水道係の名義を冒用し一方水道係備付の帳簿に料金を納入したるが如き虛僞の記載をなして犯跡を晦ましたるも遂に發覺するところとなり其筋に於て取調中の所愈々京城地方法院に檢擧せられ不日同法院の公判に附せらる

◎名刺交換會申込者千五百名

京城府の主催にかゝる元旦名刺交換會への申込者は二十日正午の締切迄に千二百名の申込者ありたるが更に便宜上二十一日午前中迄に延期したるに千五百餘名の申込者ありたるを以て之れにて全部を打切り直ちに名簿の印刷に著手したり

◎鴨綠江は廿日來氷上通行

旣報の通り鴨綠江は十八日來江面全部凍結せるも厚さは未だ僅に一寸五分位に過ぎざるを以て橇の通行には尙危險を感ずるも徒步には差支なく二十日朝來安義間の氷上を徒步にて交通するものあるを見受たり（安東縣）

◎安東縣の土木
廠失火

十九日午後八時二十五分安東縣七番通二丁目安東木工廠乾燥室より發火し建物の一部三十餘坪を燒失して九時過漸く鎭火せしが原因は溫突より發火せるものにて損害約一千五百圓なり（安東縣）

◎火藥爆發して
二名即死す

慶尙北道迎日郡滄州面大甫洞漁業森本常吉妻さだ(三四)同長女よしこ(三)の二名は去る十六日午前八時頃火藥爆發して即死せりとの報に接し九龍浦憲兵派遣所よりは所長上等兵一名補助員一名と共に現場に急行し原因其他詳細取調中なり

◎電車に飛乘りして傷く

二十日午後六時半頃九十八號電車が京城南大門通朝鮮銀行前を進行中乘合はせたる黃金町二丁目居住女髮結淸水たみ(四七)が飛降りをなしたる爲め地上に倒れて後頭部を打ち輕微の打撲傷を負ひ早速本町署警官に助けられ長谷川町安東病院に入院加療中

◎日出小學校に猩紅熱

京城の猩紅熱は尙ほ終熄するに至らず若草町居住日出小學校生徒甲斐榮生(十一)は十六日發病二十一日午前診斷の結果猩紅熱と判明したり

◎廿一日晝火事

廿一日午後零時五分市內中橋町三番地金命洙方より出火し瓦屋根約一棟燒失したるのみにて消止む原因取調べ中常備消防隊出動せり

◎又復溫突火事

二十日午後二時四十五分頃京城觀音洞五十三番地李寅命方より出火したるより鍾路南大門德宮南山町黃金町等の各常備消防出動草葺平家一棟半燒にて十分の後鎭火す原因溫突の火防の松葉に燃え移りたるもの也

◎本町署管內派出所
の受持區域變更

京城本町警察署にては管內派出所中西小門外三派出所を撤廢し各交番所受持區域に變更ありたり而して本署にて道回新に司法及び會計係用に公衆電話五百三十三番刑事係室に警備二十七番衞生建築に警備十九番を增設したりと

◎外人の靴を盜む

京城北部樓格洞生れ住所不定販信烈(三三)は昨年來北米倉町外人マルテン方に雇はれたるものにて本年八月頃よりマルテン方家人の不在中に乘じ同家の靴一足を竊取したる外其後靴四足虎皮犬皮豹皮洋羅紗類等を數回に竊取し現品は入質或は賣却したること本町署の刑事に看破せられ目下取調中

◎羽織の搔さらひ

平壤生れ住所不定通稱林虎事金重元(三八)は窃盜前科一犯の曲者にて京城市中を徘徊し十六日風呂敷包を携へ若草町を通行し居るを豫て物色物に該當する包物なるより本町署の警官が認めて本署に同行して取調べの結果同人は本町一丁目菱垣某方に忍入りて銘仙縞男羽織一枚(六圓八十錢)を窃取したるを手始めに十二月一日櫻井町古物商本田方にて高貴織羽織一枚(十一圓)女お召羽織一枚(五圓五十錢)を窃取し之を同月三日には若草町古物商大石方に九圓に賣却し尙九月中にも市內各所にて窃盜を働きたる旨自白したるが尙引續き取調べ中

◎主人の人力車

東京市下谷臨時坂町當時京城水標町人力車製造販賣商伊賀兼四郎(三十)は曾て黃金町三丁目人力車製造販賣業辻某方に雇はれ中本年春頃橫領の爲め一時何にか身を隱しゐたる所又々京城に舞ひ戾り爲め遂に其筋に引致せられたるが同人は三月堅林町金尙俊より注文を受け主家の人力車口輪一臺を五圓にて賣却し其代金を悉く自費に使用し尙四月中北米倉町原田某より人力車護謨輪一臺分の注文を受け代金二十圓を橫領費消したる爲め十二月十七日京城地方法院に於て石村判事馬場書記の係り河村檢事の立會にて懲役五箇月の判決となりたり

入院隨意（診察夜九時迄）
皮膚科
皮膚病　黴毒　痳病　膀胱　生殖器病　機能障礙
京城明治町二丁目（元旭町）
日曜祭日午後二時迄
佐藤醫院（電話一七三番）

◎傳馬船の迷子

仁川府富川郡靈興面洞津頭海岸に傳馬船一隻漂着したるを同面內洞林龍根なるものが發見し屆出でたれば心當りのものは仁川署に屆出ずべしと

◎『母のつとめ』無代配布

總督府總務局の赤松俱谷友三郎氏は曩に日出小學校に於て講演を爲したる久留島武彥氏の『母のつとめ』と題する有益なる講演速記を今回自費を投じて一千二百部を刊行し既に府內重なる各官公私立學校職員及び一部の生徒に無代配布したるが更に希望者に對しては大阪屋、日韓書房に數百部を委託しあるを以て何人にても申込めば無料にて分與すべしと

◎特價發賣申込の好時◎
青坡吉村君潔著
銃獵之趣味
見！銃獵の手引＝多獵を希望せん人＝朝鮮の獵地を知らんとする人
銃獵の壯快なる事は何人も知る處ならんも徒らに心醉して遂に身命を損ふ者多きは畢竟するに獵家の不注意より來る處にして是れ其の銃器を悉知せざるが爲なり本書は銃器の如何なるかを說き著者多年の經驗より銃獵の趣味と修養を併せて詳說せり獵犬の使用と善惡を說き朝鮮の好獵地へたる處始めて「スポーツマン」たらんとする人は元より獵家必讀の好著たり
定價四十錢特價金三十錢（郵稅を除く）
發行所　京城太平町一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社

時下嚴寒の砌り御得意樣各位益々御淸榮の段大慶至極に奉存候陳者弊亭儀各位の御引立を蒙り日々隆盛に赴き候段奉深謝候就ては此際聊か平素の御厚恩に報ゆる爲め特に一層の大勉强仕り忘年會、新年宴會及お正月重詰其他御料理一切如何程にても御需めに應ず可く候間些少に不拘御用命仰せ付けられ度此段謹んで御願申上候
京城南山町一丁目（電話一二三五番）
松葉亭

福袋　增加
歲暮大賣出し
○福袋は一圓毎に進呈
○白米反物數百反增加
唐川吳服店
京城明治町◎電話二六一番

年末贈答最適品
ボール印
メリヤス
毬印に限る
裁縫完全　堅牢無比
◎體裁優美
朝鮮滿洲到る處の雜貨店にあり
ボール印メリヤス
發賣元　大阪市東區南本町　島村英三商店
電東四三一七番●振替大阪二〇三六八番

◎溫突の亞突より

少雪後晴

露正貨の流出

歐洲の戰亂に依り浦鹽は目今市況著るしく不振に陷り一般の取引殆んど差し控への姿にあるが殊に最近新に戰時税を增加せしため左らでだに不振の市況を一層沈滯せしむるに至りたる由是れに付き近來露國正貨の海外に流出するもの漸く多く就中釜山日內に露國金貨六百圓を送金し來る由なるが迫間氏は是れに付き語る迫間本店の如きも在浦鹽支店より近く數年間浦鹽貿易に從事し居れるも未だ金貨の支拂ひを受けたること一回も是れ無く今度始めて圖らずも六百圓と云ふ金貨を受取りたるが是れを以て察するに浦鹽の經濟界は如何に變調を來し居れるかを窺ひ知るを得べく又露國が戰亂に依り財政の窮乏せるは此の正貨の流出を以て明かなりと云ふべし依つて在浦港の我支店の如きも當分は財界の狀況を觀望する事とし從來輸出せし籾其の他の如きも多少手控へすることゝせり

慶北土地調査

慶北道に於ける土地調査局の土地基本調査は其後着々進捗し本年末まで查定終了し又は終了すべきもの淸道、慶山、達城、尙城、善山、漆谷、盈德、軍威、靑松の九郡にして其他十四郡は來年中に查定終了の見込なり

釜山輸送力增大

大阪商船會社にては神宮丸の傭入滿期となりしを以て來月七日浦鹽よりの歸港を待つて之を解雇し其の代船として大阪、門司、青島航路に從事しつゝあり臺北丸を以て之に充つる由なるが結氷期間は浦鹽航路を廢止するを以て東海岸航路より寄港する船舶數は月約四回に達し尙東沿岸航路に就航しつゝある五隻の船舶は鎭南浦寄港を中止するを以て釜山入港の船舶數は激增する事なり輸送力に一大勢力を加へたれば今後荷物の停滯等の事は斷じてなかるべしと

慶尙水電計畫

洛東江支流を利用して慶尙水力電氣株式會社を創立せんと昨夏以來小倉武之助氏等種々調査しつゝありたることは既報せる通りなるが右は頃日其の計畫大いに進捗し發起人の一人たる大阪窯業肥料會社專務取締役野口順氏去日來邱水源地陝川方面を視察して十九日歸來したるが該計畫は野口氏の視察に依つて一層進捗を見るべく資本金は五十萬圓の豫定にして電力供給は無論其の營業種目の內に含まれたるも主として陝川大邱間の灌水に重きを置くべしと

淸會工事終工

淸會鐵道工事は本秋の水害にて設計變更工事の着手に依りて晩秋季に入り一時豫想外の殷賑を呈したるも近日暮るゝ寒氣と短日の爲めに進行捗々しからず隧道工事以外の土工は土地の氷結茂山嶺以南は約四五寸以上又は七八寸にも及びたるより作業愈々困難なる爲め出働人夫日々減少し殆んど本年の終工に近づけり尙ほ第一第二工區中水害の爲め新に設計變更となりたる部分以外は全部竣功したるを以て既に當局者立合檢査に着手したるが右檢査終了せば同部分は請負者より建設事務所に引繼ぐ事となるべしと

九師團交代兵（發着）

御用船色丹丸は十八日釜山入港の筈なりしが航海中風浪激しき爲めに壹岐島に避難なし二日間豫定遲延二十日午前八時半無事釜山に入港せり該船には朝鮮駐剳第九師團交代兵步四百二十名騎二十名にして輸送指揮官は步兵大尉佐藤喜四郎氏なり同日一泊二十一日午後二時發軍用列車にて北行せり

西鮮の受負業者（西鮮同業組合組織）

西鮮の土木建築受負業者は時勢の進運に鑑み鞏固なる組合を組織する事となり過日平壤七星舘に於て創立總會を開催せしが會する者平壤鎭南浦兼二浦の同業者三十餘名大橋寅二郎氏座長席に就き先づ組合規約の原案の逐條審議をなせしが主なる件は第二條に於て『本組合は同業者間の親睦便利を圖り營業の改善發達に資する』旨を定め會員の資格は獨立營業者を正會員とし代理者及び使用人を準會員とす役員は會長一名副會長一名理事八名（內五名は平壤二名は南浦一名は兼二浦）と定め總會を每年三月開會し組合の豫算を決定する事等を申合せ終つて役員の選擧を行ひしに會長に大橋寅二郎副會長に五島氏理事に橋本森本（以上南浦）前野（兼二浦）定永小川中平松本淀川（以上平壤）を選定終つて數番の演說あり宴に移り盛會なりき

千菓子、洋菓子など取揃へ　歲暮の御用待つは木村屋　京城明治町　電話二八七〇番

木浦より麗水まで　岩水

自轉車乘の突走り一と覗き

○月の八日午後一時木浦より郵便汽船に便じ[illegible]海南の突端に着す時正に三時三十分[illegible]得意の自轉車を踏み一里に亘る海南郡[illegible]內に入れば左側に新築小學校あり突き當りは洋式警察署其左手に舊時代の大建物は[illegible]海南守備隊と知らる[illegible]金融組合あり[illegible]市區先づ整然として內地人三百內外旅館は[illegible]萬事整頓せるが如し

○尙ほ聞く現守備中隊長飯色頗る黑く人呼んで黑隊長と云ふ此の黑中隊長に美談あり今夏某上官巡閱の際其黑きを見て相變らず黑いな—と感心せられしを座側の一人理由を知らず氣の毒の思ひせしに豈測らんや數年前より海南守備隊にて酒色上如何はしき評ありし爲め聯隊に於ても意志堅固にして尤も武士的なる者と特に同中隊長を指名せし程あり年將校を選拔して同隊に長たらしめんと多は冷水夏は日光浴と嚴格なる練兵の外暇あれば單獨日中山登り川遊びと他の遊戲中と雖も專ら身體の鍛練精神修養に一身を供し而て部下に臨むを嚴父慈母の愛兒に於ける如しとは誠に快心の至り斯くして初めて干城の武士なりと一般の評にて黑隊長の名一層赫々たるものあり翌海南を辭して

○康津郡に至る同郡は高麗燒の元祖[illegible]郡內一般に富裕同邑內又質に富み內地人凡て質素を旨とし農者多く內地人口海南に及ばざるも展望頗る佳く住み心地好き地にして東拓移民各所に散在す同所に一泊

○長興郡に入る同邑は內地人約四十戶地方法院支部あり鮮人の氣風[illegible]少しく柔弱なる嫌ひもあれば[illegible]代書人の手先き辯護士の口入屋等の如き勢力ありて金儲けの工風に熱中し權利を主張するに絕大の能力を用ひ一方義務の伴ふを知らざるが如き風あり內地人にしても多少慾思の疏通を欠けるの跡あるは余の尤も遺憾とする處にして又居心地良しと感ぜし儘手を敵ふて突然出發

○寶城郡に入る本邑は內地人僅に五十餘名市區準備も整はず民度進まざるも郡廳を始め邑會の整理整頓の光りの如何に主任郡守の敏鮮なるかが想像し得べく市民の統一圓滿にして田舍の契風も存せり同邑を距る四里に砂金の產地あり某砂金礦の如きは同邑內に要衝を[illegible]天下泰平と呼んで

○筏橋浦に入る同浦は由來商業の地貨物の集散を以て名あり光州農工銀行筏橋支店あり內地人五十餘戶多く商業を以て立ち圓滿なる一部落を形成し將來有望の地たり取引は[illegible]の勢力範圍に屬す

○十五日午前商況殷賑なる筏橋浦を辭し鮮商群集の同市場を見き行程[illegible]里の順天に入る、順天は全南の京都と稱すべき山紫水明の位置を得且つ[illegible]人約五百一般に食に安んじ他を顧みざるの風あり他に移出の貨物に乏しく消費の場所なれば商況不活潑なるも官民融和し樂天地の觀あり數日前附近日本人の妻女主人不在中慘殺せられしが加害者不明其筋にて搜査に腐心中なりと近來日人の被害各所に生じ加害の不明なるは多少遺憾なきに非ず

○十七日全南否寧ろ朝鮮に於て漁業を以て有名なる麗水に入る此間九里餘麗水は日人千を超え一戶の空屋を見ず每年百人餘の增加は規定の如き堅實なる發展をなしつゝあり本港の移出入頗る多く市中一般不景氣知らずの狀態にありて益々發展の兆あり加之官民一致地方の發展に熱中せるは美點に價す

平北の畜牛（平安北道の產）

平北の畜牛は體量に於て全鮮中一二を爭ふのみならず最も貴重なる皮革良好にして市價常に高く北道鐵道沿線に產する畜牛は多く博川市場によりて取引せられ平壤商人の手を經て平壤牛と稱さるゝもの少なからざるが又一方昨夏以來江界より咸南に入り城津西湖津元山を經由し每月數百頭宛浦鹽方面にも輸出せられし爲め一時畜牛の道外放逐其生產を超えし事さへあり旁々農耕上より見るも道當局にては畜產の獎勵を勵行しつゝありと

木浦より（商議新組織準備）

商議令に基き新たに設立の認可を申請する爲め當會議所にては一切の準備を完了せるも定款の準則たるべき京城會議所定款未だ其筋より送付し來らざる爲め出願の運びに至らず新組織の設立は來る四月一日よりの豫定なれども豫め出願し置くを便宜とし且京城定款の內容如何に依りて多少研究すべき箇所あるを以て理事者は其の到著の早からんことを希望し居れり

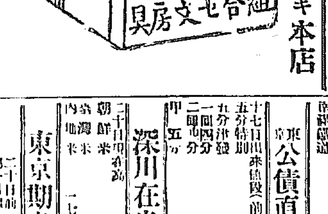
▲新水道工事　高根ケ淵の當新水道工事は殆んど完了し現に貯水池には二十餘尺の貯水あり尙ほ送水管工事並に一本松配水池工事も著々工事進捗し已に七分の出來方なれば明春一月末には通水を爲すことを得るならんと

▲木浦の氣候　本年は例年に比し非常の暖氣なりしに昨十七日より俄に寒烈となり同夜より降雪甚だしく積雪五六寸に及べり

▲木浦棉花相場　此の十六日に改定せらるべき相場は前相場ミッドリン金四十圓二十錢にして聊かの高値なく爲めに當地三棉業會社は大に苦悶の狀態なり

高尙な御贈答品

京城本町　シノサキ本店



京城本町　シノサキ支店

連絡船上陸客

廿日午前入港の高麗丸一二等客

一等（四名）吉鹿三郎、前田榮太郎、外人二名　二等（三十四名）[illegible]、同文子、同照子、[illegible]、中島文四郎、今泉順一、同りや、同やゑ、[illegible]、西川ちえ、[illegible]、河村國助、[illegible]、李瑞東、宅甚之助、[illegible]、石井太郎、今木武二、林さみ、山野まさえ、弓削てい、三等（百九十九名）

廿日午後入港壹岐丸一二等客　一等（一名）[illegible]　二等（五名）堀江龍之助、[illegible]、宮本永太、白水たね、[illegible]　三等（七十七名）

商況

東京株式特電

	二十日前場寄付	大引
日本郵船	二〇〇、八〇	—
日韓瓦斯	—	—
鐘淵紡績	一五一、九〇	—
同新株	一二〇、九〇	—
日本製酒	—	—
東株第一	二九八、五〇	二九五、〇〇
東株第二	—	—
東新第一	二六九、〇〇	—
東新第二	—	—

東京債券現物特電

二十日出來値段（前日との比較）

東洋拓殖	七〇、五〇	—
日韓瓦斯	—	—
朝鮮銀行	一六四、五〇	—
朝鮮鐵道	一四八、〇〇	—

東京公債直取引（特電）

十七日出來値段（前日との比較）

五分特別	—	—
五分利公債	—	—
一回四分	—	—
二回四分	—	—
甲五分	九四、六〇	—

深川在米特電

二十日現物相場

朝鮮米	五四、六八六
糸濱米	一六、九〇
內地米	一七、五一、九

東京期米特電

二十日前場　一月限

寄付	一五、五五	—
高値	一五、六三	—
安値	一五、三〇	—
止め	一五、六二	—

大阪株式特電

銘柄	前場寄付	前場大引
宇治川水電	[illegible]	—
神戶電燈	[illegible]	—
大阪電燈	[illegible]	—
和歌山紡織	[illegible]	—
合同紡績	[illegible]	—
鐘淵紡績	[illegible]	—
同上新株	[illegible]	—
東洋紡績	[illegible]	—
大阪商船	[illegible]	—
日本紡績	[illegible]	—
大阪米穀	[illegible]	—
東京新株	[illegible]	—
大阪株式	[illegible]	—

大阪三品特電

二十日前場

	寄付	大引
十二月限	二三九、〇〇	二四九、〇〇
一月限	二六〇、〇〇	二五〇、七〇
二月限	二六六、〇〇	二七〇、〇〇
三月限	二七二、〇〇	二八〇、〇〇
四月限	二七五、〇〇	二九二、〇〇
五月限	二九七、〇〇	三〇三、〇〇

▲二十日後場 [illegible]

大阪期米特電

	寄付	大引
十二月限	[illegible]	[illegible]
一月限	[illegible]	[illegible]
二月限	[illegible]	[illegible]
三月限	[illegible]	[illegible]

下關期米特電

二十一日前場　寄付　一五、三八　九六

朝鮮物產特電

仁川改正	[illegible]
釜山改正	[illegible]
群山改正	[illegible]
木浦改正	[illegible]
仁川大豆	[illegible]
釜山大豆	[illegible]
群山大豆	[illegible]
木浦大豆	[illegible]

雜報

● 綿糸の暴騰（地方市況）　[illegible]

洋織物の昂騰

[illegible]

本國相場は續いて高

毛朱子洋天類

硝子益昂騰

散荷動きの至極閑

狀

砂糖小弛し荷動き鈍

乃至十二圓十錢

下關相場

[illegible]

絶好の買場　俄然買氣勃發

石油の其後

石油今後の暴騰

到底避く可からざる形勢

細布値上げ

細糸現物一圓

細布五錢高　細布二十錢

方の引上

閑散なりし

京城正米

田中金物店　電話長六二八番　一五二番

南大門の廻米

乃至十五錢高の見　更に十錢

仁川現物市場

生魚市場

仁川期米

二十一日前場　二十四錢

大下放れ入電　大阪四節四

十六錢五節五十八

錢高移り　七十八

二十五錢と暴騰の移り　爆發

㋑ 仁川米豆取引所仲買人　海岸町　今村覺次郎　電話長三七三六八

市場零聞

▲前場の大混戰

▲前場大變動

移り入氣沸騰　大阪大暴騰

餅搗相場の本領　發揮

▲前場暴騰す

頗る殷賑を極む　大商內行れ

提にて春高人氣の前

㊆ 行賀仲買店　仁川海岸町　電話長二四三〇番

仁川米豆取引所

廿一日の二月限

前場	平均値段
寄付	十一圓二十三錢
二節	十一圓十九錢
三節	十一圓二十五錢
四節	十一圓十六錢
五節	十一圓十八錢
高値	十一圓十六錢
安値	十一圓
出來高	二萬六千三百石

	出來値	前日比較
十二月限	[illegible]	一二安
一月限	[illegible]	一四高
二月限	[illegible]	一〇七安

買取組高

株式だより

▲循環的買人氣

▲資產家と諸株

毛皮並に皮革製品　廉價販賣部　京城本町二丁目（京城銀行前）　木下販賣部　電話九三八番

京城黃金町三丁目（黃金遊園前）　木下製造工場　電話京城一五〇四番

毛皮油ぬき、なめし、入念の上他に比類なき安値に調製可仕候間多少に不拘御用命の程奉願上候　御注文は凡て本町販賣所にて御引受け申候間同所へ御立寄り願上候

銚子港　田中玄蕃釀造　ヒゲタ醬油　京城明治町一丁目　代理店　山邑京城支店　電話八四九番

金牌受領　上酒壹升に付四拾錢　卸賣は特に割引可致候　淸酒美林燒酎　釀造元　京城櫻井町一丁目　中井酒造場　電話百七十七番

くすりは山岸　諸官衙御用達　洋藥賣藥卸問屋　醫療及試驗器械　懇切叮嚀、迅速確實、に市內配達及び地方通信販賣致居候　京城本町一丁目郵便局前　山岸天佑堂藥品部器械部

內科小兒科　入院隨意　京城明治町（元善隣學校跡）　中島醫院　院長中島貞信　電話三七八番

無双醇良淸酒　衞生無害　品質無双　首藤合名會社吟造　精白米御小賣　キリンビール　サツポロビール　醬油と鑵詰甲萬　各種ございます　シトロン　三矢布引サイダー各種　朝鮮發賣元　首藤京城支店　黃金町（電話一一七一番）

京城永樂町二丁目（商品陳列舘裏門通）　酒井婦人病院　入院隨意　電話二六〇〇番

古綿を盗み取る

[illegible]百匁（價六圓）を詐取し翌六日西大門町二丁目古物商金光[illegible]同月二十日には黃州通一丁目[illegible]寺師某方より八百匁（一圓）を各騙取（五十）等共謀し家庭の不和及び財產上[illegible]自宅前の街路に於て警官の制止する[illegible]腦脊髓炎の誤りに就き正誤す

越後大評定

第八十席　早川貞水口演

美作悪心の萌芽

小栗美作はこの時丁と膝を拍ち『成程御説の如くで御坐る』六『然らば御大老の方は、此方が如何やうにも御取做し仕るに依り、萬一下野守殿、御逝去でもあらせられた其時は、御一子大六殿を以て、御家督の儀願ひ上げて然るべきやう存ずる』如何にも御逝去〳〵と云ふ『ハアこりや若殿さへ無ければ、大六を以て越後家御家督の儀は、取計らつてくれるに違ひない』と早くも悟り『誠に有り難く、然らば萬一左樣な事これ有り候節は、大六を以て相續願ひ上げ度、勿論若殿の御逝去などは、祈るべき筋には、毛頭これなきも、人の命は且にして夕を測り知る可からず、萬々が一、不幸の事ども之あり候はゞ何分宜しく願ひ上げる』口には言へど心中『さて此若殿さへなければ、吾も兎も角、一代は附家老たりと雖も、一子大六の世に相成らば常主の親たり、何ぞ諸侯に從れを取るべきか』と、茲に初めて美作が悪心を起しました、如何な人でも慾はあるもので、慾には眼が眩む『慾深き人の心と降る雪は、積り積つて道を失ふ』どうも此慾のためには、法も道も踏破ることがあるので御坐います、伊勢貞丈先生は、人間は生れながらにして、他人の物を盗ると云ふ一の病を持つて出づる者は、子供の間に他人の食物を盗み、子供同士持つて居る物などを盗じて食ふ、其が嵩じて金錢を盗る其から盗賊になると云ふ譯この慾さへなければ人間は惡人とはならぬ、如何な高位高官に爲つても慾のため生命を捨てる者もあり、又名譽を失ふ者もあると、貞丈先生は申されました、他事を申上げるやうでありますが、乃木將軍は『もの〳〵ふは黄金も玉も何かせん、命にかへて名こそ惜しけれ』と仰せられましたが、此心掛がないと、人間一生を誤るので御坐います、茲に小栗美作は、延保元年十月、江戸表出立に及び、途中日數を重ねて、越後國頸城郡高田の城に乘込ました、そこで追々考へまして、先づ若殿を亡ひ奉るには、味方を附けなければならぬと十一月十五日、自分の誕生日を幸ひ格別懇意の者ばかりを招待いたし、心を盡して一同の者に馳走した、其招かれた人々は、本多三彌、同伊織、鶴見善十郎、辻三平、天野利左衛門、岩瀬平馬、關岡仁兵衛、小泉四郎兵衛、黒田彦十郎、大野治郎兵衛、安藤治兵衛、岡野要、蜂野熊十郎、井上伴藏、蜂谷孫之丞の十五人やがて美作機會を見て『時に御一同、拙者に一の望みあり、御同意下さるや如何に』○『何事なりとも承はるで御坐らう』美『然らば他言せぬと云ふ神文誓紙血判下さるか』○『其儀も然るべく』と熊野牛黄に對して、神文血判に及んだ、御承知の通り熊野牛黄と云ふ紙は、熊野の判が捺して御坐いまして、之を用紙に使つて、神文を認め、記名血判した上、萬一之を背く者は日本六十餘州の大小神の御罰を立ろに被ると云ふ誓ひになるので御坐います良い事なら爾う云ふ事も効くかも知れませぬが、惡事を働くのに、熊野の牛黄の誓紙を用ゐるのも、理に合はぬので御坐いますが美作は之を以て味方人心の纏動を防いだので御坐います

年末の贈答品には　實用向きの　ちゝぬ銘仙　珍柄豐富　本場
京城本町二丁目　ちゝぶや　電話八九〇番

十二月廿三日九星　舊十一月十七日　戊子　本命七赤　四　成　先負

泌尿器病　入院隨意（診察夜九時迄）
腎臓病　膀胱病　淋病　梅毒　横痃　皮膚病　專門
永楽町二丁目　金光教會隣り　安部醫院　電話四一九番

演藝案内

黄金館　黄金町四丁目　電話二六三七
天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店
十二月二十一日より
歳末掉尾の大寫眞
○喜劇トンダ血川○新西寶賽伊國コモ湖の寶玩
○喧嘩ゲニーと針
天下一品、大冒險、大活劇
◎死の騎手　全五巻
◎佐藤江梅先生大傑作　天然色會社代表作品
新派大悲劇　人の親　全四巻
大井、力味、木下吉之助の新派幹部連大車輪合同
○今回は非常の長尺に付き一割れの御獻一は中止致候

有樂館　本町一丁目　電話二六六
十二月十八日より新寫眞
◎寶塚エクレー週報卅四號◎喜劇僧侶さん
◎泰西喜劇伯母さんの散▲日活會社關東撮影所
新派悲劇　閻魔の巻　全三巻
▲伊太利イタラ會社大傑作
泰西正劇　盡ぬる忍にし　全三巻
▲米國カレム會社最近撮影
泰西大活劇　増給　最長尺
▲日活會社關西撮影所京都俳優出演且て東都にて大好評を博したる活動界の大フヰルム
舊劇　久米の仙人　全七十場

浪花館　明治町　電話二六〇番
新派讀のオーソリチー京山恭爲一行
▲小天狗新造（爲春）▲義烈百傑（圓洲）▲水戸黄門漫遊記（若春）御客様の御好に依り各大看板の節眞似御聴に供し候（若春）▲北海奇聞雪夜物語明治の大賊從川傳内▲都新聞連載高崎土産佐原騒動以上（恭爲講演）
毎日午後六時より晴雨に不拘開演仕候

壽館　壽町　電話一〇五〇
十六日初日演題
神崎與五郎（浪花軒岳鳳）一休悟道錄（桃中軒雲道）小栗判官（京山要子）倉橋傳助、宇都宮釣天井長講二席（京山福壽）

壽座　本町　電話五七八
十二月十八日替り狂言
新派讀美團一行
雲の響　六幕
[illegible]

御成座　御成町　電話二九一
坪内博士之作
一番目　新朝顔
二番目　ハッピリ　全七場　二場

大正館　櫻井町　電話八七三番
十二月十八日より歳末掉尾の大寫眞
○寶塚パスグリーザニャー會社傑作　風○○西部劇
伊太利　泰西人情劇　侠少年　全三巻
日活　新派悲劇　五月日記　女鑛夫　全三巻
舊劇　尾上松之助　市川延十郎一派出演　大前田英五郎　全三巻

米國ビクタートラップ會社製
獸類捕獲器　壹個　壹圓五十錢
狐、狸、ヌクテ　取器械
仁川濱町　京日仁川代理部

寫眞　寫眞出張撮影　寫眞銅版、亞鉛凸版
最も迅速なる技術を以て最も廉價に迅速と丁寧親切を旨とし御高需に可應候
京城日報社　寫眞製版部

優等清酒　一鶴
京城本町三丁目電話六五四番　本莊酒店

新年用　名刺　はがき
明治町二丁目（敎會堂通）長崎名物屋

入院隨意
京城南大門通三丁目（陣木商店横入る）
胃腸病院
院主　佐々木杏造　電話一六五九番

食後に
仁丹飲めば
胃腸強健、誰樣も缺さず召上れ
（四季容器實寫圖）

金言
飲食を節せよ然らば汝は健康なるべし
（フランクリン）

京城　朝鮮銀行
當銀行ハ預金、貸附、爲替等一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
電話（一一〇六、一二六〇、一二六一、一六一三）
振替貯金口座　京城三三三番
支店出張所　東京、大阪、平壌、仁川、元山、大邱、釜山、鎭南浦、群山、木浦、馬山、羅南、會寧、新義州、安東縣、奉天、大連、長春
右ノ外内外主要ノ地ニ爲替取引先有之候

賛化病院
京城本町二丁目　電話二四一番
入院隨意　普通病室並隔離病室
院長　醫學博士　古城憲治
尿。便。血液。喀痰等臨床的檢査の依頼に應ず（毎日五名を限り無料施療す）

ニキビとり
藥用美顔水

青年男女
皮膚の衛生
△ニキビは斯して出來る

一體人の皮膚は何時も多少其脂氣があつてすべ〳〵してゐますが、是は皮膚といふ細い管から皮脂を吹出してゐるからです。併し物は兎角一利一害で、此皮脂の吹出方が餘り多過ぎると、皮脂は皮膚の口を塞ぎ、痛痒い厭な感じを起させ、終に醜いニキビと成るのですが男女とも青春の頃は此皮脂が多い爲ニキビも亦多く、其れを捨てておくと、瘡痕即ちニキビの塊となり、如何にも見苦しく全然容貌の美を毀して終ひますから。若しニキビが生たら、桃谷藥學士の創製で其後も丹波山本二博士が顧問、桃谷藥學士始め數人の藥學技師となつてゐる桃谷研究試驗部の研究で一層効力が加はり、今の世に是以上進んだニキビ藥は無いと言はれてゐる藥用ニキビとり美顔水を直ぐ用ひるのが一番有効な方法です。尚此藥を常用すれば、色を白くし肌理を細にし艶沽々となり、素顔の美しさを増し。尚又蚤や蚊や南京虫に螫された時塗ければ瘢を防ぎ、皮膚氣持よく、跡が腫物等になりません

定價　拾貳錢　廿五錢　五拾錢　壹圓
▲各藥店化粧品小間物店にあり
東京　大阪　桃谷順天館
改正2575.109

大阪商船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、關門、神戸、大阪行
群山丸　十二月廿六日
山頭丸　十二月三十日　午後五時出帆
溫州丸　十二月廿三日
漢城丸
（船の番號…時は五分引なり以て連絡切符發賣仕候）
○木浦、釜山、長崎行▲は鎭海、濟浦に寄港
×安東丸　十二月廿六日
▲城津丸　一月二日　午後二時出帆
○鎭南浦、大連行
×安東丸　十二月廿二日
城津丸　十二月廿八日　午後二時出帆
◎鎭南浦行
×漳州丸　十二月廿三日正午出帆
◎大阪直行
天佑丸　十二月　日後五時出帆
○群山、釜山、横濱行
△△千珠丸　一月十二日
チヨイサン丸　十二月卅日　午後四時出帆
○大連直行
△△千珠丸　一月七日
チヨイサン丸　十二月五日　正午出帆
○濟津、浦潮行（元山出帆）
▲は城津西湖津に寄港浦汐不寄港
地久丸　一月八日
神宮丸　十二月廿八日
▲大智丸　一月二日　午後三時出帆
○上海、基隆、打狗行（大連出帆）
湖北丸　十二月廿六日
安平丸　一月十日　午前十時出帆
御注意
○朝鮮鐵道及南滿洲鐵道會社との船車連絡切符發賣仕候
○仁川切符は本船出帆約一時間前無賃送迎
○×印は一等客御斷り△印は船客御斷り即可度候
仁川切符發賣所　大阪商船會社仁川支店　電話二二〇番、五五〇
京城切符發賣所　内國通運會社支店　電話七八〇番
中國四國沿岸各港行切符客に對し當分の間門司迄一割門司より五割引を以て聯絡乘船切符發賣仕候

尼崎汽船仁川出帆

○群山、木浦、釜山、下關、神戸、大阪行
秀吉丸　十二月　日後四時出帆
君が代丸　十二月　日後四時出帆
土佐丸　十二月　日後四時出帆
神海丸　十二月　日後四時出帆
大有丸　十二月　日後四時出帆
第二太湖丸　十二月　日後五時出帆
仁川海岸通二丁目　電話五十九番　高杉回漕部

共同汽船仁川出帆

阿波國共同汽船株式會社
芝罘、大連行
第十共同丸　十二月廿四日後二時入港　十二月廿六日前九時出帆
朝鮮鐵道主要驛より芝罘及青島行定期船に接續貨客共直航貨客連帶取扱可仕候
城津、清津、浦鹽行（元山出帆）
第一阪鶴丸　十二月　日　後九時出帆
西湖津沿岸各港を經て雄基行
第三共同丸　十二月　日前入港　十二月　日出帆
本町一丁目　電話一〇八番　山下回漕部
仁川代理店　田口回漕部　電話二四四七番
元山代理店
京城取次店　大門通電話二六八二　河村運送店

汽船釜山出帆廣告

○門司、神戸、大阪行
立神丸　十二月廿一日後五時出帆
○元山、清津、浦鹽行
立神丸　十二月卅日後十時出帆
○門司、神戸、大阪行
小倉丸　一月四日後五時出帆
○元山、城津、浦鹽行
小倉丸　十二月廿三日後十時出帆
○元山、西湖、新浦、城津、清津行
第三琴平丸　十二月廿一日後九時出帆
○門司、宇品、神戸、大阪行
第三琴平丸　一月一日後六時出帆
○佐須奈、嚴原、壹岐、博多行
天貝丸　毎月二日九日十六日廿一日廿六日　午後十時出帆
釜山本町　大池回漕部

日本郵船仁川出帆

○大連、秦皇島行
相模丸　十二月廿七日　正午出帆
三河丸　一月十二日　正午出帆
竹島丸　一月三日　正午出帆
仁川海岸町一丁目　電話十一番　堀回漕部

朝鮮郵船出帆

鐵道及其他外船と旅客運賃聯絡の便あり詳細は本支店、出張所、代理店、旅客取扱店に御照會相成度
京城南大門驛前　京城旅客取扱店　松原運送店（電話長一一七番）

全羅丸　一月三日
京畿丸　十二月廿四日
黄海丸　十二月廿八日
咸鏡丸　一月七日
（門司より釜山各港寄港場所）
釜山發
穩城丸　十二月廿九日
昌平丸　十二月廿三日
鏡城丸　十二月廿五日
元山より各港經由雄基行　元山發
平壌丸　十二月　日
忠清丸　十二月廿二日
城津、清津、浦鹽行復航釜山經由門司
元山發
永興丸　每月廿八回
北久米、元里浦行　又は長崎延長
元山發
嘉島丸　十二月廿五日
甘浦、九龍浦、浦項各港寄港鬱陵島行
釜山發
江陵丸
盈陽丸　每日
長生浦方魚津寄港
（釜山浦項）發
三浦丸　十二月廿二日
長承浦、巨文島、濟州島各港行
釜山發
海州丸　巨濟丸
統營丸　慶賓丸　每日
各港經由麗水行（三日目一回木浦行）
釜山發
順天丸　三日目每
各港經由麗水行麗水より釜山行に接續
木浦發
慶興丸　十二月廿三日
各港經由濟州島行（西廻）
木浦發
公州丸　十二月廿二日
南多島海列島行（月三回）
木浦發
公州丸　十二月廿七日
各港經由濟州島行（東廻）
木浦發
宗信丸　十二月廿四日
海州他各港經由、鎭南浦行
仁川發
江原丸　十二月　日
芝罘、大連、青島行
仁川發
麗水丸　十二月廿五日
晋州丸　十二月廿一日
各港經由木浦行
仁川發
全南丸
陽丸　每日午前
江華島、喬桐島、海州行
仁川發
平安丸　十二月三十日
十二月廿七日
仁川、木浦、門司、若松行
群山發
若松發

(年中無休刊 大祭日ノ翌日休刊)（明治三十九年九月一日第三種郵便物認可）水曜日 THE KEIJO NIPPO 大正四年十二月二十二日（一）

京城日報

二十二日朝刊
（第二千九百八十號）

第三版

定價（下紙）　一部金三錢五厘▲一ヶ月金七拾錢▲郵税共一ヶ月金八拾五錢（郵送に限り）▲郵税共三ヶ月金貳圓四拾錢六ヶ月増三圓七拾錢▲郵券代用二割増
廣告料　▲五號活字一行金七拾錢▲欄内一行金壹圓拾錢▲所指定一行金貳圓拾錢▲二號活字の一行は三號活字同樣▲六號活字同樣
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 太平通一丁目 坂口政太郎
發行所 合資會社京城日報社
電話 編輯用 長三四五番 一二一四番　營業用 三三六番 長六六〇番　振替貯金口座京城三〇〇番

京城日報

印度の治安

昨年歐洲大戰役勃發以來、世間印度の治安如何を氣遣ふもの多く、就中印度及び埃及には多數の回教徒ある爲め、土耳其が基督教國たる英佛を戰を開きたるを機會として、回教徒をして宗教戰爭の名の下に、土耳其に應じて起たしむるをなきかを懸念するもの寡からざりしも、開戰以來一年有半を閲して、印度は極めて靜謐にして三四年前に比すれば、寧ろ人心甚だ平穩なりと云ふを妨ず。

印度は實際上英國の統治の下に於て善政美法に飽き、其幸福の境遇は數千年の歷史上今日と比すべきものなし、而して猶ほ英國をして、時に憂慮に堪へざるの情を懷かしむる所以のものは他なし、印度人時に誤解を懷くとあると、英吉利人があまりに神經過敏にして、時に疑心暗鬼を生ずるとあるとの爲めなり、由來印度人は極めて平和的民族なり、爭鬪は其の最も好まざる所たり、且回教徒を好戰的なりと云へるは中世時代の事にして、今日にては最早然る氣象を有せず、現に印度埃及諸地の回教民族は毫も土耳其を助くるの意思なきのみならず、皆英吉利に對して忠誠を表し、回教僧侶は則ち大英帝國主義の宣傳者たるの實あり、乃ち大體に於て印度は昨今世人の相傳ふるが如き危險は無きものと認むるを當然とす。

尤も印度人中に革命を唱ふるものあり、英國に對して獨立すべきことを主張するものありと雖も、是等は回教徒にあらず寧ろ基督教徒に屬するもの、間にあり、就中英國其他諸國に遊びて、一知半解の新智識を得たる輩に於てこれ有るを見る、是等の徒は其聲を大にして切りに其形勢を張らむとするも、其人員は極めて少數なり、之に附和雷同するものなきにあらずと雖も、是れ亦二億八千萬人の印度人中には、大海の一粟に譬ふべし、今日印度の防備警察の整頓と、交通機關の發達とを以てして、其領土內の治安を保つに於て、綽々として餘裕ありと謂ふべきなり

或は印度に何事かあるときは、我大日本帝國は、日英同盟條約に依りて印度に出兵するの義務を負ふべしと云ふものあり、併ながら日英協約の規程は甚だ明白なり。乃ち協約第二條にて、兩締盟國の一方が挑發することなくして、一國若くは數國の攻擊を受け、防護的戰爭を爲す場合に限り、協同戰鬪に當るの義務を生ずるものに外ならずして、印度內の一揆暴動革命內亂等には、何等の關係をも有せざるなり、且今日の戰局を觀るに、巴爾幹戰爭すら既に其局を結びたれば、今後獨墺軍或は獨土を衝き、埃及を窺はむとするとなきを保せずと雖も印度を衝くが如きは必無の事なり、獨墺は海上より印度を襲ふの力なし、陸上とても我敵にして波斯を取り、カイベルパッス一條の嶮路を經るにあらざれば、印度に入る能はずして、是地理上將た戰略上絶對的不可能事たる所のものなり、從つて我日本帝國が、日英協約に依りて印度に出兵するが如き機會は絶無と謂ふべきなり

朝鮮の先史民族（前承）

八木奘三郎

歐洲の先史時代に屬する塚墓の類は其築造形狀等頗る多樣に涉れども、大別して五種と爲せり、即ち第一は泥塚Tumuli、第二は卓石Dolmen、第三は環狀石籬Circle、第四は行列立石Avenue、第五は單立石Menhire、是れなり、而して第一の中には更に四種の小別有り、第二の中には二小別有り、第三には三小別、第四第五は共に二小別あり、是等は一々細叙する必要なきも、彼の石塚若くは積石塚Cairn、なるものは所謂ドルメン中の一種にして其中に又二種あり（甲）は覆土ある石塚にて（乙）は覆土なき石塚なり、故に此區別上より云へば廣州邑外の大古墳も、予が前表に揭げし撑石の（一）（二）も皆なドルメン中に加ふ可き筈なれども、斯る分類は學者の意見如何に據て相違することあれば必ずしも拘泥す可からず、又歐洲の古塚墓は其發達順より云へば泥塚尤も古くして其跡は已に中石器時代の初に見え、次は環狀石籬にして同期間の中頃に見え、他は概ね其末期より新石器時代、青銅器時代、鐵器時代に跨るものなり、又ドルメン、ケイルンの如き石塚は英國にてはスコットランド、コロンウエル、ブルタニー等に多く存在し、大陸にてはノルウエー、スエーデン等に分布し居れども、要するに岩石多き地方に限るの觀あれば、其取材の容易なる結果として造りし迄にて一民族の各地に點在分岐せし譯にはあらざる可く、隨つて朝鮮に撑石の存する所も亦斯る理由に基くやも圖られざるなり、然れども日本の版圖內には他に此實例なく、又露領沿海州を初め滿洲、蒙古、支那本土、南滿等には未だ其遺蹟の存在を聞かざるにより、此特異の點が尤も珍重す可き次第なり、勿論今後は其類例を他地方に發見することなしと云ふ可からず、吾人は寧ろ其數の益々多からんことを望めども、顧ふに日本の如く石器時代の割合に古き國柄に在ては恐らく此種の遺跡を見出すこと能はざる可し、何となれば歐洲に於ても米國に於ても其墳墓を築造する民族は皆な幾分か進歩を來せしものゝみにして、彼の洞窟に住居し、又は水草を追うて轉徙漂流し、殆んど其居所を定めず、或は未だ大しき[illegible]境に在りて食を天然の物資にのみ仰ぐ時代は未だ高大絶無の墳墓を築くに至らざればなり、歐洲に於ては古墳墓の創始を新石器時代に當れども、彼の農耕の起源は案外に古く、就中粟の如きは由來悠久なりと云へば或は石と相伴はざるや、此點は世界の先史研究上最も重要の問題なるが、朝鮮半島に於ける石器時代の民族は恐らく農耕の時期に入れるならん、此事實若し判然せば東亞の穀物史上に一新紀元を劃し得可く、又支那物產との關係上面白き點を見出すに至らん、要するに其稻作的境界に達せし新事例と、穀物の有無如何を探ることは又日本の先史住民に見る可からざる事柄にして、獨り朝鮮に於て其事を確め得らるゝやも圖られざるなり、彼の北海道及び千島樺太等のアイヌは周圍の文明國人に接近し居ること久しと雖も、未だ農作の法を勞めず、然るに朝鮮の先史民族が數千歲の昔に於て尚ほ其法を知れりとせば單に其點のみにても興味津々たりと稱し得可し、日本の古墳時代に屬する陶器類には往々穀類を印するもの有り、是等は別に奇とするに足らざれども、中間土器又は彌生式と稱する土器中にも亦同例あり、此民族は豫輩が土蜘蛛人種ならんと信ずるものなるが、彼等の石器を使用せしことは今日又次第に判明し來れり、去れば朝鮮の先史民族は若し穀類耕作の實例を證明し得ば、土蜘蛛種族と略ぼ同位置、同民度に在りしことを知るに足る可し、猶其如何は更に後段に說ん。

議會覗き

東京支局　一記者

閣臣彈劾決議案の日程に上つた十八日、野黨の氣勢漸く昂り與黨の陣容また張つて東西相望むところ旌旗風に翻り金鼓一たび響かば直ちに會戰の幕開かれんず凄まじき光景▲開會の劈頭議長決議案提出者たる原敬君を麾いたが此の時國務大臣席に大隈首相が見えないので原君『總理の出席するまで演說を見合はせます』と先づ野黨の總大將たる見識を見せる▲滿場の視聽を惹きながら暁一暁內閣彈劾の理由を說明せる原君の態度は何等意氣軒昂の痕なく冷靜にして悠々迫らざること平時の原君と毫も變らないのは流石であるが其の演說は餘りに說明的で氣勢頓と揚らなかつた▲原君に對して陣頭に現れたは腰は梓の弓を彎く老武者、肥塚龍君『眼鏡々々』と冷かされ『孫と代れ』と野次られながら昔し取つた杵柄を揮り廻して開戰早々から議場の緊張を弛べる▲攻擊軍第二陣の關直彥君は先づ無難であつたが防禦軍の二陣頼母木桂吉君『お前は誰れだ』と出鼻を挫かれて聊かたぢ〳〵の體『諸君が笛を吹いても國民が踊らぬではないか』と遁れ名句を吐いた積りで引下る▲續て菊池武德君『白晝提灯を提げて歩きませう』と場當りをいひ▲森田茂君日糖事件を引證して武藤金吉君に『豫審調書をモウ少し讀め其處にも居るではないか』と同志會總務の名を大呼されたは飛んだ藪蛇▲齋藤珪次君は尾崎法相を厚顏無耻と罵り大臣席をハツタと睨まへると法相は瀟振けの體『オヤ居らぬ』と苦笑▲防禦軍の第五陣を承つた金澤種次郎君、一言二言何か述べ立てると野黨から『オキナハレ〳〵』と笑殺され貴族院議員席の加藤男までが耐え切れないようにハツハと笑ふ▲キイ〳〵聲の金澤君を打止めに大隈首相登壇して、原君の演說は獨斷的、感情的であると、こやつたので攻擊軍の議席が漸く險惡となる▲驍て攻擊軍の手痛い半丁に疳癖筋を隆起させた首相、勵聲一番して『政友會諸君の責任論は君主權を侵すものであるのである』と叫んだから溜らない▲ソレツと一時に沸騰激昂した攻擊軍は木札を鳴らし床を踏んで首相を立往生させる▲猿の如く演壇に跳り上つたのは武藤金吉君である、肩を怒らし『何が君主權を侵した、何が〳〵』と首相に肉薄して小突き廻はしたから暗澹たる殺氣は見る〳〵漲る▲單騎敵陣に圍まれた富田幸次郎君は縱横に鐵拳を振り廻し▲速記臺を挾んで兩方に分れた双方の猛者連はポカ〳〵と擲り合ひ摑み合ふ▲山根正次君が鳩山一郎君の背後からポカリと一つ不意打を喰はせると鳩山君振り返りざま足掛の一手で山根君をヅデンドンと投げ仆す▲議場は正に修羅場の亂鬪亂打の渦を捲いて大隈首相は議長と書記官長の渦の凹んだ處へギツ〳〵押しつけられて立往生しながら護衛と微笑して餘裕を示してゐる▲守衛に圍まれて首相は再び演壇に現はれて口を開いたが何が何やら薩張判らぬ▲七時四十五分首相が足が痛み出したと退席すると激し切つた野黨は『出すナ〳〵』『何故逃がす』『廊下へ廻つて押へろ』など、背後から浴せかける▲議會史上空前の大混亂は約一時間の後漸く收つたが斯うして議事錄の上へ一大黒點を印した（十八日夜記）

石器天降說に就き 八木氏に質す（中）

小松綠

李陸が『星隕て石と爲り雷震うて石を得、刀の如く斧の如し、其の彫琢の巧なる固より偶然に成るに非ず、良匠の老手を經るに非ざれば成る能はず』と云へるは、石器天降說と自己の疑念とを併せ陳べたる妙文なり、尙其の末節に於て『金玉土石に至ては人力を借るにあらざれば則ち巧を成す能はず』と論斷したる、其意は世に星隕ち或は雷鳴して石器天より降りたりと說き傳ふる者あれども、其の巧妙なる彫琢より察すれば、多分人爲に成りたるものなるべしと也、因つて以て八木氏の謂ふ如く此の半島にも亦天降說の存在せしことを推知するに足ると同時に、此の說は其の儘には信じ難しと思ひしほどの智者ありしことをも證すべきに非ずや、然れども予思ふに李陸も八木氏も共の懷疑家たりしに於て徑庭の差なく、而して天降說を妄誕なりと速斷して毫も其の由來出處を詮釋するの志なきに至ては彼此相似たりと謂はざるべからず。案ずるに石器天降說は無稽の妄想に非ずして一部の事實なり、又石器人造の前提なりとも認め得べし、李陸が『星隕ちて』といふを見るにつけても、隕星の落石を想起せざるを得ず、又雷震うてとは、其の落下の時の震響宛も雷の如きを謂ふなるべし、隕石（メテヲライト）は宇宙の次第に固定するに隨ひ稀少となりたるも、古代に遡ること遠きだけ、夫だけ頻繁なりしや必せり、而して隕石が先史時代と有史時代とを通じて如何に尊敬せられたるかを推察するに難からざる事蹟あり、羅馬古代の軍神たる『マース』の楯が隕石たるは學者の確信するところ『ダイアナ』の像も木星より落ち來りたる隕石にして『メッカ』に於ける回々教の黒寶石も隕石なりと謂へり。

▲有史時代に於て隕石が既に崇敬の標的たりしこと斯の如し、況んや先史時代に於てをや、隕石の中に神像又は楯或は寶玉の形を成したるものは、唯其の一少部分にして他に斧の如き劍の如き鏃の如き形を成したるもの數多く降り來りたることも略類推するに難からず、原人之を採りて直ちに利用し、且つ之を標本として更に巧妙なる刀、斧鏃等を模造したるには非ざる乎、今日の學者が、石器として蒐集せるもの海陸懸絶せる東西各州大抵其の揆を一にせる事實に徴するも、其の最初の意匠は同一の標本即ち天降石に由來せることを感せしむ、然らば則ち石器天降說は頭ち無稽の臆說に非ず、固より初より石器として天より降りたるには非ざるべし、唯原人之を承けて用器とし更に之を模して器物を作りたるものにして、天工人爲相俟つて始めて原人の用器を論定すべきに非ずや。

京日詩壇

○寄懷磐石盟臺答其問近狀　笹島紫峯

未醉他鄕夢、歸家日月移、山河千古邑、松菊卅年姿、適世今知樂、辭官已悔遲、文章無可補、何以答明時。

評曰　兩聯自在閒適之境可羡

○復紫峰詞兄　成田磐石

入夢忘離得、聯吟步步移、鷺梁津月色、牛耳洞櫻姿、撼擲塵標早、娩消詩債遲、郢丁斲破寶、雙鯉到來時。

評曰　情深意切、停雲會諸賢讀此詩追憶紫峰兄厚誼否、

日報歌壇

戯れ言　香川　篠原空鎭

多麼の鞘を拂ひて凝視る灯に玲瓏と澄む我心かな

戯れの言より心隔たりし君をしもぬべばうすら悲しも

何物か失ひし如と執著の淡き憂ひに暮るゝ今日かな

昭陽亭

官妓李花が胡蝶の舞も夢の世や樓に時雨れて褪せ行く青丹

屋根の上のペン〳〵草が北風に吹かれて樓に陽は傾きぬ

仁川米豆取引所

▲…場小康　前場大阪の誤電にて人氣稍挫け十一圓二十五錢…

平均値段
一節 十一圓十錢
二節 十一圓十錢
三節 十一圓十一錢
四節 十一圓〆九錢
三千二百石

歐洲戰爭以後西比利亞方面在住の露國人就中猶太人波蘭人が南滿洲を經て米國又は南洋へ移住するもの頗る
七歲以上四十二歲以下の壯年にして大連より乘船するものは自今一切大連日本民政署の證明書を乘船券に添
犯し旅券を買收して盛んに南下しつゝありたるが今回右の制規の爲め徴兵忌避者に一大打擊を與へらるゝものなりと（大連）

空鐵一本もなし

景品種目

一等	中帶又は友仙	二十四本
二等	片側帶	二十四本
三等	羽織裏又は襦袢の袖	四十八本
四等	置時計金庫洋傘鞄	七十二本
五等	敷島十袋宛	百九十二本
六等	硯箱靴下(足三)卷莨箱	三百六十本
七等	ダリヤ十二包宛	九百六十本
八等	兎十包宛	六千本
九等	石鹼入、手柄、ナイフ、タオル	
	鏡、パイプ、靴下	九千六百本
十等	ハネビー、鉛筆、匙、呼子笛	四萬二千七百廿本

合計六萬本

到る處の煙草小賣店にて御買求被下必ず景品券御受取被下度候

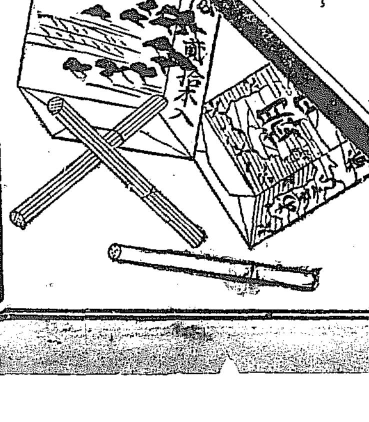
年末景品附大賣出

東亞煙草製品

賣出期間 大正四年十二月一日より同年十二月三十一日迄

賣出煙草
◎八千代 ◎芙蓉 ◎敷島　各一盒に付 景品券貳枚宛
◎大和 ◎武藏野 ◎朝日 ◎ダリヤ ◎ビューチー　各一盒に付 景品券壹枚宛
▲抽籤期日　大正五年一月十日
▲景品引換期間　自大正五年一月十一日 至同 一月三十一日
▲景品引換場所　京城、黃金町京城官煙組合　仁川、新町仁川官煙組合

京城官煙販賣組合
仁川官煙販賣組合



○帝政は斷じて民意に非ず 四省巡按使連署抗告

北京來電に依れば雲南、貴州、四川、廣西各省の巡按使等連名にて政事堂及び統率辦事所に電報を發し帝政は支那の民意に非ず揚度等は國權を紊亂せるを以て斬罪に處す可し帝政を實行せば所在動亂の虞れあるを以て中止す可しと申し送れり彼等は若し政府が之を容れざる曉には直ちに事變を起す可く準備整ひ居れり(東京特電)

○政府追加豫算

政府は二十一日左の追加豫算を衆議院に提出せり(東京特電)

▲歲入内譯
一金一千六百廿六萬圓 歲入總計
金二百三十二萬圓 兵器製作金
金八百七十六萬圓 同資却金
金五百十八萬圓 山東鐵道收入金
一金八百七十三萬圓 歲出總計

▲歲出内譯
金二百三萬圓 臨時事件費追加金
金六百七十萬圓 同上
一金七百五十三萬圓 豫算超過要求

○與黨懲罰交涉會

與黨三派の懲罰交涉會は廿一日午前十時より院内に開會安達總務及び小山松壽氏之に加はり政友會議員に對する懲罰程度に付き協議したるが武藤金吉氏に對しては最重罰を適當とするも情を酌みて出席停止十四日尙鳩山、岩本兩氏は同じく十日、小林秦兩氏は同じく七日、廣岡氏は無罰と爲すに決せり(東京特電)

列强大戰

▲戰亂と歸化邦人

オツタワ來電に曰く、加奈陀官憲はブリテシユ・コロムビア領に住する日本人より歐洲戰亂に歸化日本人を參加せしめん爲め新隊を編成せんことを申込まれたり(倫敦電報)

▲獨巡洋艦擊沈

アムステルダム來電、伯林公報に曰く獨逸巡洋艦ブレメン及び水雷一隻は東部波羅的海に於て潜航艇の爲め擊沈せられ乘組員の多數は救助されたり(倫敦電報)

○兩宮殿下轉補

廿一日朝香宮、東久邇宮兩殿下には左の通り御轉補遊ばされたり(東京特電)

步兵第六十一聯隊中隊長步兵大尉勳一等 鳩彦王
發本職補近衞步兵第三聯隊附
步兵第廿九聯隊中隊長步兵大尉勳一等 稔彦王
發本職補步兵第三聯隊附

○中旬對外貿易

大藏省調査に係る十二月中旬對外貿易は輸出二千百十一萬圓輸入一千四百七十二萬圓にして差引六百三十九萬圓の輸出超過を示せるが輸出は前年同期に比し五百三十七萬圓輸入は二百三十二萬五千圓を增加せり而して一月以來の累計は一億六千三百四十四萬三千圓なり(東京特電)

○總督東京出發

寺内總督は二十二日午前八時三十分東京驛發歸任の途に上る筈(東京特電)

□袁氏肖像の附いた銀貨は安い

二十一日上海より門司着郵船丹波丸の齎らせる談に曰く袁總統は目下の日本政府の意向は有賀博士を紹介して知るの方便あれば大隈内閣瓦解までに是非帝政を實行する意思なる者の如し之れに對し上海にては袁氏の皇帝たるに反感を有し袁氏の肖像を附したるものを忌み袁氏の肖像を附したる銀貨は目下市價一錢安値なりと(門司特電)

○趙重應子東京發

東上中なりし趙重應子は二十一日午後東京驛發歸鮮の途に就く(東京特電)

○閔泳綺男

男爵閔泳綺氏二十一日午前丹波丸にて上海より門司着同夜下關發連絡船にて歸鮮す可し(門司特電)

雜報

◉極月上半貿易 出超百二十萬圓

十二月上半の朝鮮貿易は輸移出品價三百九十九萬五千九百六十七圓輸移入品價二百八十萬二千四百九十八圓合計六百七十九萬八千四百六十五圓にして百十九萬三千四百六十九圓の輸移出超過を示し、之を前年同期の輸移出品價二百二十三萬一千六十九圓、輸移入品價百九十二萬九千七百八十九圓、合計四百十六萬八百五十八圓に比すれば輸移出入額共著しく可き激增なるのみならず前年の輸移出超過額は僅に三十萬一千二百八十圓に過ぎざりしに今此多額の出超を見るに至りしは朝鮮貿易上喜ぶ可き現象と云ふ可し、而して本年一月以降の累計を見るに輸移出品價四千五百十五萬六千六百九十四圓、輸移入品價五千五百七十八萬六千六百九十圓合計一億九十四萬三千三百八十四圓にして千六十二萬九千九百九十六圓の入超を示し前年同期に比し輸移出に於て一千三百五十七萬九百九圓を增加し輸移入に於て四百八十四萬八千六百七十四圓を減退し合計に於て八百七十二萬二千二百三十五圓の增進を示せり今一月以降に於る輸移出入品の重なるものを示せば左の如し

▲主要輸移出品(前年同期に比し)

米	三、〇三三、四〇六圓	增	六、五三〇、二一九圓
豆類	四、七五〇、一四三	增	一、〇一八、九五一
牛皮	三四七、八〇六	同	一、八〇七、八〇四
綿花	九三五、八五一	減	一〇四、六三一

其他前年同期に比し牛皮に於て十四萬四千七十三圓肥料に於て四萬八千三百四十三圓を減じたり

▲主要輸移入品
輸移入品中の重もなるものにして(前年同期に比し)減退せるもの左の如し

米	減	二、五五二、三四六	小麥粉	減	五四四、六九九
粟	減	三五九、九九九	織物類	減	一〇七、二〇〇
食鹽	增	二三三、三三三	綿織物	增	三三六、三五七
石油	增	三五二、五九八	晒金巾及シーツング	增	二五三、五三二
紙	增	一〇七、四三五	セメント及石灰	增	一四三、九八二

◉朝鮮と家蠶業 模範場の試驗成績

朝鮮の氣候は空氣乾燥にして家蠶特に春蠶飼育に好適するも從來の蠶業は遲々として進まず、蠶種の如きも劣等なる朝鮮在來種を飼育せるの狀況なりしを以て勸業模範場にては創立以來育蠶の模範を示すと共に朝鮮に適應せる蠶種の製造配付を行ひ又大正元年度よりは蠶種の統一を圖らむ爲め春蠶に在りては又昔、青熟、小石丸、夏蠶に在りては新屋、秋蠶に在りては白龍の原蠶種を製造し、大正二年度には糸繭用蠶種を併せ四千二百餘枚、同三年には七千七百餘枚の配付を爲せり、然るに原蠶種の需用は蠶業の發達に伴ひ逐年劇增し、同場の設備にては到底之に應ずること能はざる趨勢を呈するに至れるを以て大正三年度よりは

▲原々蠶種製造に決し原蠶種は地方廳に於て右原々蠶種により製造配付することゝなれり、本年同場より配付せる原々蠶種の數量は約五百枚にして之に糸繭用蠶種の配付數量を加算せば四千枚以上に達せり、尙ほ近來朝鮮に於ける蠶種の製造額は年と共に增加せるも未だ需用を滿たす能はず、內地より少なからざる移入を仰ぎつゝあるの狀況にして同場は更に蠶室桑園を增設して一層糸繭用蠶種の配付數を多からしむると共に一面同場の保管に係る京畿道始興郡新東面所在桑園の一部を蠶種製造家に貸付し模範場監督の下に蠶種の製造を行はしめ本年は創業匆々にして設備未だ完からざるも

▲二萬四千餘枚の製造を爲さしめたり而して今後益々之が製造に努力せしめ其供給の圓滿を計らむとす、又蠶業奬勵上重要の事項としては桑樹の育成にして同場は多年試作の結果朝鮮の風土に適す可き桑樹の品種を選定し早生桑に在ては市平、中生桑に在りては魯桑、赤木、晩生桑に在ては島の内苗を養成し之れが配付を爲せり、其配付數量は創立以來實に八十餘萬本の多きに達せり、而して桑樹の栽培に關しては桑樹の發芽伸長並に收量調査、桑樹品種比較、病蟲害、其他の調査を爲し以て桑樹の栽培に關しては種々の調査研究に依り其向ふ處を示し又朝鮮現下の家屋及び經濟狀況に鑑み之に適應する最も簡易なる蠶具、蠶室等を案出して以て之を推奬したり、並に朝鮮蠶業家の最も注意を要す可きは彼の蠶蛆の害にして該被害は全土到る處に之を見ざる無く實に慘憺たるものあり、之を以て模範場は創立以來之が研究を重ね蠶蛆の性狀を明にし以て適當なる防除の方法を案出するを得たり、此防除の方法にして一般に行はるゝに至らむか養蠶上に及ぼす其功果頗る大なる可きを疑はす

◉仁川の最近鹽業

仁川港に於ける十一月中の原鹽輸移入額は四萬五千二百八十七圓にして前月の四萬二千三百七圓に比し二千九百八十圓を增加し前年同月の一萬七千二百三十七圓に比し二萬八千五十圓を增加せり之れに依つて見れば本月の原鹽輸移入は前月と大差なく再製鹽は最大需要期に入りたる爲め前月に引續き付目覺しきものあり前年同月に比し著しく增加せるは前年は山東省の暴風雨により其生產高著しく減少し勢ひ仁川港への輸入量も減退せし爲めなり市場の商行は普通にして價格は百斤五十錢より六十錢見當なり月末在庫高は一千二百萬斤內外なりとす因に仁川再製鹽業は前月に引續き大需要期にありたる爲め地方の注文夥しく各製鹽所は晝夜を分たず全力を盡して生產に從事しつゝあるも尙ほ供給不足を訴ふるの狀況なり從つて在庫高も鮮少にして相場は百斤一圓見當なりとす

◉客月牛皮移出

仁川港十一月中の牛皮輸移出額は五萬四千九百十七圓にして前月の三萬三千八圓に比し二萬一千九百九圓を前年同月の一萬三千三百五十四圓に比し四萬四千五百六十三圓を增加せり本月の輸移出が斯く前月及び前年同月に比し著しき增加を示せるは露國より軍需品の注文絕えざるより內地相場は常に好氣配を保持し殊に中物以上の需要多く賣行活潑なる爲め當地庄野、辻川兩商店より移出盛況を呈したる爲めなり斯界は依然活況を持續し前途益有望なるものゝ如し相場は大皮(二十五斤以上)六十二圓中皮(十五斤位)六十四圓小皮(十斤以上)五十九圓にして前月と大差なかりし

◉初年兵到着

平壤駐屯步兵第六十九聯隊及び龍山駐屯騎兵中隊へ入隊すべき壯丁約九百名は廿二日午前十一時四十五分龍山着臨時列車にて到着六十九聯隊へ入隊の壯丁は晝食の爲下車一時間餘の休憩をなし直ちに平壤に向け出發する豫定なり

◉仁川の繩叺移入高

仁川港十一月中の繩叺の移入高は二萬六千五百十九圓にして前月の三萬三千二百十四圓に比し八千六百九十五圓を減じ前年同月の九千百五十二圓に比し一萬七千三百六十七圓の激增を見たり

◉漢江上流結氷

京城憲兵分隊管內に屬する楊州郡兎島面附近の漢江は數日前より結氷せり

◉辭令

二十日附を以て左の辭令ありたり

陸軍憲兵中尉 中倉慶治
任朝鮮總督府警視
遞信技師 三浦義深
陞敘高等官三等(依願免本官)

又十二月十一日附を以て左の辭令ありたり

遞信事務官 穗積眞六郎
文官分限令第十一條第一項第四號に依り休職を命ず

人事消息

▲伊藤通雄氏(鐵道院副參事) 打合の爲め入京
▲朴泳侯 廿一日朝大邱へ
▲入江理財課長 同夜歸任

◉年末の大阪

▲本年も餘日無之大阪の財界は全く歲末氣分の支配する所となれり流石の市中金融も小二厘方の引緩りを見せ居るが漸次切迫するに連れては四五厘方には活躍すべきかたは云へ金融市場より見れば昨年に比し尙ほ何等特色を表現したることなきが如きも財界の景氣は前月來減切活躍色を呈出し來たれる株界を初め米穀綿糸の三市場に之れを見るべく、此の點に於て昨年末の半恐慌的不況に比して殆んど別世界を見るが如きは戰爭景氣より膨脹したるものなりとはいへ、斯くあるべしとは蓋し未た何人も豫想し得ざりしところに相違なく經濟界は數年來突つて歲末準備に奔走する只此窮あるのみの太平を慶賀せざるを得ざるべし

▲株式の昂騰の如き前景氣の花と稱せらるゝもの、而かも消長の激甚なるは之を以て常に財界の標準とするには危險を免がれざるものあり、昨年の不況を以て今春の景氣に比して直ちに財界を律するの難きも、而かも戰爭景氣が物價の上に一般的に普及したることの事實は遂に爭ふべからず、されば景氣の殿りを受け持ち居る地價の如きすら早此くも一割方の回復を示せる之れを以て見るも株式によりて十割十五割を附けるも怪むに足らず、我が商工景氣は常に海上より來るの諺は既に船腹不足、船價昂騰となり、海運の繁昌造船の多忙之れのみに見るも其一般は察知せらるべきが、今や是等の總括的景氣は米價の回復に依りて農民に普及せるを見るは最も有力なる觀察資料なるべく一時十一圓臺に落ちたるもの今や十四圓臺より十五圓臺を摩しつゝある稍々物價の標準に復せりといふべし、尙久しく不況を唱へ居たる紡績會社にして既に決定せられたる利益配當案に見れば益々前途の發展を卜するに足るべきにあらずや

▲獨り此幕に當つて問題にされるは銀行營業にあれど一面に金融の緩漫を訴へたるもの、要するに警戒の殿りなりしが爲にして之れに應ずるに一面に貸出利率を引下げ一面に預金利子を協定せるが遂に大なる活動を起す能はざりしと雖も、前期利益を持するには十分にして而かして云ふを憚る所なれど前年來入に知られざる苦勞の裡に隨分遣り繰り來れるものゝ價は此金融の緩漫なるに依りて少からざる金く整理されたるものも少からざるべく即ち銀行の基礎も亦此裡に安定したるものあらん、現に北濱銀行の如き何人の計劃妙案と雖も恐らく再興する困難なるべかりしものも當事者の熱心にもよらんが、今日迄くとして整理進捗しつゝある固より金融狀態にありてこそはじめて斯る成績も見られたるならんと察せらる、然らば銀行の觀察と云ふよりも寧ろ金融上よりの觀察にして此の幕の景氣は既に均等に分配され居るの疑ひなき所なり。

▲之を要するに貿易は尙十餘日を殘せる今日既に一億五千七百萬圓の出超を示し、正貨は一億七千萬圓の增加を見たる此の成績の歐洲戰の影響より來れるものなる時は、それだけ戰爭景氣の內地商工界を潤したるは事實にして、延いて今歲末財界の近年稀有の發展となるは當然の理由なり只其の是れが戰爭より來りたるが爲に戰爭終結後に如何に變化すべきかの氣遣はれざるにあらず故に此の景氣を未だ旺盛せざる今日に培養して戰後に持續せしめん事の希望なるが、戰爭の前途は中々俄かに片附くべしとは思はれず、然らば我が財界の之に應對の時期は尙ほ多少の餘裕あるものと見るを得べし、歲末氣分の財界を見れば之を昨年に比して市人の尙自重せん事を望まざるを得ず(一記者)

御贈答用最適品

櫻正宗櫻魂一斗樽 瓶詰化粧箱入
京城明治町一丁目
山邑京城支店
電話八四九番 一四五四番

法律新聞議會號
本紙每月六回 五回・十の日 每月六回 三回・八の日發行 議會號は一部七錢
●第一號は十三日發行●
我國に於ては歐米文明國の如く委員會の速記を公にせざる爲め立法の趣旨明瞭ならず法律解釋上甚だ不便を感ず依て今回議會に於て討議せし諸般の事項に關する本會議及委員會の速記を輯錄し其實況を撮影して法律新聞議會號を發行する事とせり
●立憲國民必讀の新聞●
東京日本橋區本町四丁目九 法律新聞社 電話本局一九一三・一五七一番 振替口座東京七六七番

春陽堂發行
新案 當用日記 大正五年
柳川春葉先生 齋藤松洲先生 編
(特色) ▼用紙純耳 ▼折返表紙 ▼閲木堅牢 ▼携帶至便 ▼兩曆九星 ▼實用諸則統計表 ▼模範文集錄 ▼附錄完備
四六判六百頁 定價六十錢 送料八錢
全國著名書店販賣
東京日本橋通 春陽堂 振替一六一七

歲暮大賣出し
龜屋

五段鈴木爲次郎先生著
新撰 圍碁全集
菊判二六〇頁 洋裝布製美本 定價壹圓 送料十二錢
斯界に名聲錚々たる旭將軍鈴木五段の多年實驗上從來れる定石、布石、詰物、浸分、實戰等圍碁百般の碁譜に對し其利害得失を綿密明快に細説し初學者上達の資と爲せるを以て何人も本書を熟讀せば一躍直に三四目の上達は確實也と著者は卷末に揭げたる難問全部の正解者へは初段の實力を證し賞品を呈す
發兌 京城 電話二〇八六 振替二五七三 大阪屋號 東京出版部 大阪店 同釜山・大連・旅順・鐵嶺

法人及商業登記公告
政府ノ任命ニ依リ左記ノ者大正四年拾貳月拾四日朝鮮銀行總裁ニ就任シタリ
京城府旭町貳丁目拾八番地 總裁 勝田主計
總裁ノ就任ニ依リ同銀行總裁ノ職務ヲ行フ理事水越理庸ノ代理權消滅ス
朝鮮貿易株式會社ハ大正四年九月貳拾壹日資本總額ヲ金拾萬圓ニ減少シタリ
右大正四年拾貳月拾七日登記
私立善隣商業學校理事市原盛宏ハ大正四年拾貳月四日死亡シタリ
左記ノ者私立善隣商業學校理事ニ選任セラレ大正四年拾貳月拾壹日就任シタリ
京城府南山町貳丁目貳拾六番地 山口太兵衞
右大正四年拾貳月拾八日登記
朝鮮銀行ハ大正四年拾貳月拾九日大阪市東區道修町四丁目六番地ノ支店ヲ大阪市東區今橋五丁目拾八番地ニ移轉シタリ
右大正四年拾貳月貳拾日登記
京城地方法院

購買入札公告
一二百磅鋼線 千五百貫
右詳細ハ昨日ノ朝鮮總督府官報ニ在リ
大正四年十二月廿二日
朝鮮總督府遞信局

定款第十五條ニ依リ大正五年一月一日ヨリ總會終了迄株式書換ヲ停止ス
大正四年十二月二十一日
株式會社百三十銀行

新酒賣出し
一升 金拾八錢
古酒 一升 金參拾錢
各驛迄の運賃當店にて負擔可仕候 但樽代一斗入六十錢。二斗入及四斗五升入は一圓申受候
大邱北旭町 齋藤酒店 電話三四九番 振替八二六番

石炭
明治町一 村山商行
電話一〇五一

宇治 月桂園茶舖
本店宇治茶問屋 京都清水坂賣 地方通信販賣
營業所京城旭町一丁目(電話九九八番)

開店御披露
恩賜江原道物產 木炭大販賣
右木炭は御承知通り先般朝鮮物產共進會に於て販賣江原道特產賣店に於て木炭の多大の好評を得たる一手販賣を其儘弊店に於て本日より特約致し愈々大賣出し開店廉價を以て仕候間多少に不拘御注文願上候
尙ほ石炭も各種卸小賣仕候間木炭同樣御用命願上候
京城明治町支那領事館前
木炭 石炭 松本商店 電話三〇四番

東京發別電
▲官肅獨立宣言 上海來電に
議當日議場に於る亂暴を國民に訴ふ
なりたる爲め倫敦の各汽船會社は臨
一致せるも內國保險代表者と外國保
依り寧ろ內國側に協定せざるを以て
盛會なりしが其成績は左記の通り好
結果なりき

御睦じき三殿下

東宮御學問進ませられたる御事

東宮には十八日を以て御學問所第二學期御修了、二十日御修業式御擧行あらせられたが東宮の御近狀に就き戸田東宮主事謹話すらく、東宮殿下には平素極めて御健勝に渡らせられ私が拜命後約一箇年になりますが未だ一度も御不例等の事はない位で從つて御學事も毎日缺かさず御進み遊ばされ愈々今年第二期の全課を終へさせられた、殿下の御平生の御課程は午前九時より午後二時半迄で午前は大抵は普通學科、午後は重に武術體操で一週二回は

▽**馬術の御修業** があります二時半からは大抵御自由に五名の御學友と御運動遊戲及び御復習等を共に遊ばされます、土曜日は御學課午前十一時半限りとし大抵は御參內御父君陛下に御對面遊ばされますが只今では皇后陛下青山に在す爲め御歸途青山にも御參內になり御物語の後御歸邸に相成ります

▽**日曜には皇子** 御殿から必ず何方からか御出掛になつて御遊びになるのが御樂しみの一の樣に思ひます十八日も三殿下御揃で濱離宮に行啓になり鴨獵を遊ばしました、御避寒の日取は未だ極まつて居りませんが多分年內に沼津御用邸に成らせられ明春三月頃御歸京になると思つて居ります

浦鹽埠頭の壯觀

禁酒令の裏 サイダーの瓶を前にしてコクリ〜

△今年は浦鹽も非常に暖かで此の年內には結氷を見ないだらうと噂されてゐる、港內には先日大鯨が數頭まひ込むで其のまゝロスキーに生捕られたといふ珍談もある

△埠頭は昨今日本及び米國からの軍需品山積の大繁昌、巨大な一萬五六千噸級の大汽船が幾つも〜埠頭に横付けとなつた光景は素晴らしいものである、我が北鮮通ひの立神丸神宮丸など二千餘噸の汽船は小蒸汽のように見える

△殊に日本から送る軍用靴や軍器などの貨物も盛んなものであるが就中眼に著いたのは長さ五寸幅二寸厚さ三寸位ゐの夥しい銅塊であつた、而して一般日本商店も戰爭以前に比して金儲けがあるらしく日本郵船會社も這回同地に三井物產に支店の取扱を開始し近々又朝鮮銀行も支店を出すといふことである

△日本領事館も從前はカレイスキー街に借家住ゐであつた處這回新築の堂に三階建が出來金色の菊花御紋章も輝いて見える

△浦鹽の物價は又箆棒に不廉く燐寸の小さい箱が一個三錢、和手拭一筋が二十錢、米一升が三十二三錢はまだよいとしても清酒一合が九十錢とは驚くの外はない、然るに假令九十錢でも平氣で飮まれるとありがたいが開戰以來例の擧國一致の禁酒令でやかましいから若し左利きの處を發見されようものなら酷ひ目に逢ふ併し矢張底には底があるもので卓上にサイダー、シトロンの瓶を並べたまゝでコツソリ飮る先生もある

△又露貨の留布紙幣相場の下落したとは非常なもので日本貨幣との換算率は約其の半分にも値せぬから兩替に困る次第現に浦鹽に於ても一般の物價は騰貴してゐる

△又過日婦人の義勇兵が六十名許り歐洲の戰場に向つたといふ風評があつたが現に劍を佩びて銃を持つた女の兵隊を見て來たといふ人もあつた（浦鹽歸客談）

暮の街の女

行衞不明の五十萬人

嗚呼慘憺たる塞耳維人の運命

ロンドンタイムスサロニカ特派員所報に曰く、鋭に戰ひ利あらず國土を避けて黑山國又はアルバニアの山中に入りたる約五十萬人の塞耳維人の行方に就きては其後杳として聞く所無きが、就中其中の幾千人は寒氣と饑餓の爲めに仆れ又は生き乍ら狼などの餌食となりしならん同地方は昨年十一月の初旬より降雪の爲めに禁塲を得るの道無かりきミトロヴィツにて麵包頗る缺乏し逃避者は專ら獸類の屍骸を喰ひて生き延びつゝありしことは目の當り見たる人々の物語る所なり（倫敦電報）

爆藥を抱いた女

警官に現物を突付けられて卒倒す

十九日午前九時頃釜山牧之島家原ちせ方へ三十五六歲の怪しき女出入し何事か契約せし模樣あり、ちせは曩にダイナマイト密賣買の前科者なるより釜山署上田巡査は此奴は爆藥密輸入に關係あるものなる可しと尾行したるに怪しの女は幸町二丁目下宿屋伊藤方に立寄り間もなく立出で、四十五六の男と暫時立話しを爲し別れて女は富平町方面に赴くより同町交番前にて女を呼止め訊問の筋ありと交番に女を引張り込み置きて同巡査は女の宿なる伊藤下宿屋へ取つて返し宿帳を見るに京都府與謝郡富崎村當時大邱居住柴野きくえ（三二）と在りて攜帶品は何物も無しとの事なれども室內隈なく搜索の結果夜具の中よりダイナマイト一箱及び雷管多數を發見したれば直ちに押收して交番に引返し女の面前に之を並べて訊問せんとせしに女の顏色見る〜間に變じアツと叫んで打倒れし有樣に警官の驚き一方ならず醫師よ藥よと騷ぎ立てし結果朱雀醫師の來診に依り漸く蘇生したるも尙ほ言語を交ふる事能はず目下本署に於て療養中なるが爲めに取調べも一先づ中止せり（釜山）

南山の雪を蹶る六百の健兒

壯快な強行軍

豫て武術に體育に猛烈なる尙武的精神を涵養しつゝある京城中學校にては廿一日の降雪を期して壯快なる雪中行軍を擧行した、一行は全校六百數十名の生徒を始め三十餘名の職員まで打ち加はり午後一時半校庭を出發南大門まで驅足の急行軍を續けてそれより更に城壁に沿うて南山絕頂に登攀したのであるが折から松林の間に降り積む雪を蹴立てゝ山巓で萬歲を三唱したのは勇ましき光景であつた、一行は更に坂路を獎忠壇に降り午後三時半校庭に歸つた又行軍中は一人の落伍者もなく一同大元氣であつたのである

金貸五百六十人を相手取つて訴訟す

京城茶屋町三十四番地金貸業金浩秀は南陽郡龍江面洞居亡韓英植の相續人韓吉晧外京城各町洞居住の五百六十六人を相手取り貸金請求の名目にて元金一千二百圓の民事訴訟を京城地方法院に提起したり其請求の原因とする要旨は亡韓英植は舊韓國政府時代に都中と稱する組合組織の營利事業をなしたるものにて前記韓英植は業務執行社員として勤務せる際金浩秀より金員を借入れ大正二年六月迄は其幾分を支拂ひたるも其以後更に入金なきを以て屢督促する所ありしも何等入金なきに依り遂に同人の相續人及び前記組合員なる五百六十六人を相手取り請求訴訟を提起したるにありといふ是に關し兩三回の辯論あり負債側にては右の金員は組合より借款したるものにあらず單に韓英植個人の負債なりとの主張にて何れも事件の進行中にて未だ決定するに至らず

佛蘭西人を相手取つた訴訟

京城貞洞尹昌烈氏より京城西門外居住佛國人礎求物理氏を相手取り鑛貸借貸金請求事件の訴訟を提起し京城地方法院民事部に於て判決されたるが原告は被告に對し金三百十七圓を支拂ふべしとの請求にて原告は竹山郡遠三面澤文に總督府より許可を得て鑛業權を有し居り原告は大正四年一月一日より七年一月一日迄の間毎月金五十圓宛の賃料を支拂ひて金鑛を經營すべき約定にて採掘に從事したるも爾後六箇月間の賃料合計三百十七圓を支拂はざりしが最初の契約中特に採掘の見込なき時は賃料を免るゝ旨の契約ありたる爲め遂に原告の敗訴となりたり

「學生ページ」寄稿歡迎

本紙新年號の一部を開放し「學生ページ」と稱し大いに學生諸君の爲めに大いに氣を吐くと同時に新春新紙の一大光彩たらしめんとす、左の規定に依り諸君の奮つて投稿あらんことを希望す

▲學校自慢 ▲受持敎師評判記（落稱集も可） ▲日記 ▲學校行事

〆切 廿五日本社著の分まで

（內地小學校より專門學校まで總ての學生諸君の投稿を歡迎す）

歲末贈答品

（二）格好な品々

歲暮の十日間は各商店共何れも一年中の決戰時期である別けて年末年始の贈答品買出しは何れの店も尠くない、舶來雜貨食料品では鍋屋

▲**大勉强のとて** 格好な品が明治屋、靑木堂、辻屋等何れも和洋酒食料品、煙草、鑵詰等を賣出して居るが其他一般の食料品問屋、呉服店、下駄屋、砂糖屋、菓子屋、煙草屋、雜貨店、文房具店等にもそれ〜

▲**格好な體裁** よき進物用商品が尠くない、殊に京城電氣會社では電車の乘車券を賣出し、酒屋、呉服屋の商品切手も輕便であるが高尙な向きでは市內の書物屋で發賣する書籍券並びに新刊の名著、日記類も

▲**珍重せられる**、又砂糖の箱入り一圓內外から鰹節の箱五本入で三圓內外の處、乾鮪の一尾一圓內外のもの、紀州蜜柑の一箱一圓から二圓位ゐの品は例年何處も異らぬ贈答品である、又クリスマス用贈答品としては一般玩具類が

▲**歡迎されて** 居るがこれには珍形クラツカー、クリスマス、カード等其の他色々な新案玩具が賣り出されてある、又た小供向きとしては文房具の組み合せ箱入りで一箱四十五錢から六十錢八十錢一圓乃至一圓五十錢の品も賣れ行きが好く漬物屋鑵詰

▲**箱詰を始め** 奈良漬、山葵漬等も思ひ付きであらう、其の他ブランデー、ウヰスキー、ベルモツト、キニラソー等の所謂赤い酒靑い酒の詰入り一組二圓乃至三四圓の處もよく賣れる、朝鮮は舶來

▲**煙草が廉い** からとて土耳古や埃及產の金口貨や葉卷類も盛んに賣れる、又廣江商會や東亞、朝鮮、東西等の各貨會社製品も上品な贈答品であらう

弊店儀地方讀者の御便利を計り從來京城日報一箇月金五十錢（郵稅共）三箇月前金逆階の讀者に郵稅無料にて御取次申候處今後は郵送料一箇月金十五錢申受候也

京城本町三丁目（振替京城九九番）

町田新聞部

◎小伯圓の濟京 廿一日夜花月に於ける宮內省大膳職兵隊司令部忘年會に招待された講談師松林小伯圓は歲末の廿七八日まで本町大和館に滯在一般の御招きに應ずる由

本椿香油の大名譽

登錄商標

實業博覽會に於て數多き髮油の內獨り我本椿香油のみ**金牌の榮譽**を荷へり

如何に本椿香油は他の髮油より勝れるかを知られよ

本舖 大阪 三宅堂

故に曩きに宮妃殿下及宮內省御內儀御用の光榮を荷し華族貴顯方は勿論上流社會に於て盛に愛用せられつゝあり

●注意 頭上柿なきは僞物なり

定價 廿錢、卅錢、六十錢、一圓

玩具と敎育を兼ねた繪雜誌

日本幼年

倉橋惣三先生監修

□三歲から十歲までの子供の智情意を圓滿に發達せしむ

□繪の美しいこと一等 □噺の面白いこと一等 □紙數の多いこと一等 □値段の安いこと一等

新年大附錄 新案 **イロハかるた**

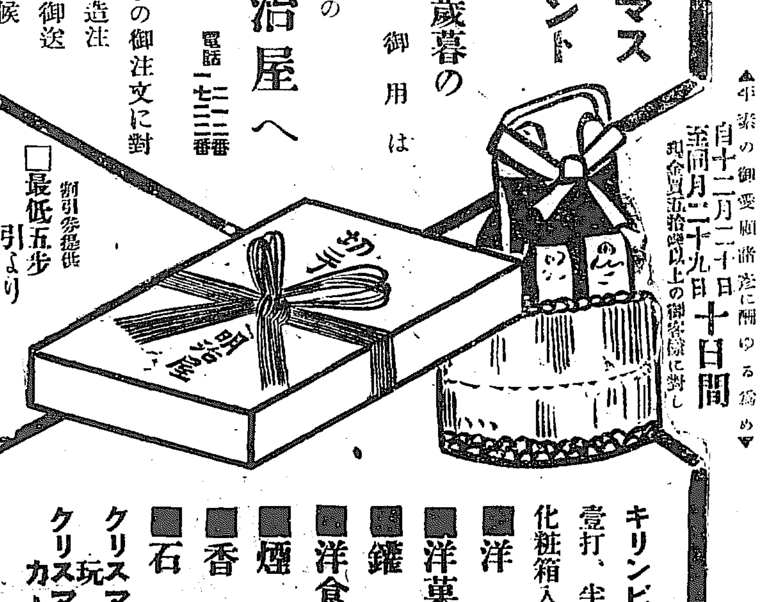
(イ)キホヒ、ヨイコハ、キツトカツ (ロ)ヲオモ、オフネガ、ギツチラコ (ハ)ヤネ、ハヤヲキ、チヤウブナコ (ニ)コニコ、シテキル、エビスサマ 〔敎訓的にして娛樂的〕

□定價拾錢 □郵稅壹錢 □半年六拾參錢 □壹年壹圓廿錢

東京市京橋區鍛冶橋外 振替東京四千九百番 **東京社** 全國書店にて賣捌

クリスマスプレゼントと**年末御歲暮**の御用は是非京城の**明治屋**へ 電話 一二二番 一七三番

地方よりの御注文に對しては荷造注意直ちに御送附可申上候



▲平素の御愛顧諸彥に酬ゆる爲め 自十二月二十日 至同月二十九日 十日間 現金買五拾圓以上の御客樣に對し 割引券提供 □最低五步より □最高一割まで 卽時開封の上品代金より直引する事▼

キリンビール 壹打、半打 化粧箱入

■洋酒 ■洋菓子 ■鑵詰 ■洋食品 ■煙草 ■香水 ■石鹼 クリスマス玩具 クリスマスカード

クリスマス用 西洋樂器 大正琴。大和琴 新年號雜誌 最新刊圖書 かるた。花かるた トランプ

大販賣

日韓書房 京城電話 一四五 一二二七 振替 一一五番

▲政府與黨の憤慨 … 黨は懇親會を開き政友會の彈劾案附 …

▲蘇士航路危險 … 蘇士危險と火災保險の協定に就き內國側は意見、外國側も內國側も等しく希望する所 …

▲外 …

▲勝か洛平 …

… 白耳義國 … 婦人救濟慈善演藝會は京城貴婦人諸氏の熱心なる同情に依り非常の … 因に吉備舞山本正三氏より金十圓寄 …

千生瓢 (77)

須藤南翠作　筒井年峰畫

電馳 (四)

以心傳心の間に主命を領して、身一人大垣城に留つた堀尾茂助吉晴は、秀吉の全軍が城を出拂ふを待つて、衛と本丸に入り、城主氏家内膳正行廣に對面した。

行廣は吉晴を見て、忽ち穏かならぬ色となつた。

『足下は筑前殿昵近の大將ではないか。何とて此火急の出陣の人數にば加はられんだぞ』

吉晴は何氣なき體に答へた。

『後の事ども取賄うて、曉かけて追ひ參らうと存じ申す』

『ふむ、さては此内膳、二心ある者と疑うてぢやまで』

『何とおぢやる?』

『情ないぞ、堀尾殿。いかにも此内膳は、尾張衆でない。父卜全、稲葉、安藤ともに、美濃三人衆とおざつたが、齋藤龍興が時、其闇愚を見限つて、織田殿に隨身してより、無二の忠節を勵んでおざる。別して筑前殿は、美濃を捨て尾張に臨する時、父卜全汲引下された舊交を温ねて、長島表に於て討死の後も、他意なく志を運んでおざる。唯今となつて此内膳、何とて腹黒き謀を較計み申さう。推量あれ堀尾殿』

行廣は赤誠を溢いで言明するのであつたが、其表裏は秀吉が浮沈の岐るゝ所であるから、吉晴は容易に信じようとはしなかつた。

『何樣、氏家殿、稲葉殿は、土岐殿以來の美濃衆おざるに依つて、何事にもあれ、思し立たるゝとならば、誰かは下知を背き申さう。さらばこそ筑前守も、氏家殿をば、何程か恐しき者に思ひ居るなれ。但し筑前守も、今度はよく〱難儀の合戰おざらうと存じ申すが、氏家殿には何と御覧ぜられうや』

吉晴が問ふ詞の、未だ訖らぬ先に行廣は潔よく答へた。

『如何にも筑前守殿難儀の合戰おざらうとも、誰も〱申すでおざらうが、其は織田殿おはした代と見ての下墨おざる。織田殿既に薨去なつた天下の主まだ定まらぬ。見させられい、柴田は織田殿の家老、殊に御妹聟おざれど、勇氣に慢じて我意强く、人を人とも思はぬ風おざれば、迚も天下の武將たる器量とは存じ申さぬ。北畠殿は故右大臣公の御子ながら、憚りながら御心怯にして、天下の御主たる御器でない。御舍弟三七殿は勇氣おはせど、御短氣にて御思慮なく、剰さへ柴田ばかりを無二の者として、筑前守殿始め他の大小名を疎んぜらるゝ偏狹、是とても天下を治むる大將軍とはおざらぬ。丹羽五郎左衞門は、思慮も深く、柴田に次ぐ重臣ながら、小量にして大器でない。瀧川は人を見るの明を有たぬ、國二つには治め難い、夢にも天下が望まれうぞ。是等の隱々と相違して筑前守殿は、五畿内大方領せらるゝ上、近江の舊知、播磨の新治、剰へ備前、美作、備中、備後の數箇國を手に入れられ、武威隱々の上におざる。此度また伊勢を切り從へて、越前に向はるゝに於ては、必ず柴田を遂ひ落して、天下を領せらるゝ事、此内膳首を賭けても受け合ひ申すは。嘸、堀尾殿、内膳なども蔭ながら好にめんじて、定めて思し召し給ふまい。此城に居て岐阜を押へよとは仰せられたが、呂久、江渡の兩川の洪水、こゝ五六日に落ちようとは思はぬ。徒らに當城に在つて、水の外なる岐阜を押ようより、賤ケ嶽に馳せ向つて、筑前守殿に力を合せうと存じ決めた。堀尾殿、いざ來ませ』

意中落ちもなく說き立てゝ、前に法螺を吹かしめた。

吉晴は呵々とうち笑つて、

『この茂助命一つ拾うてござるわ』

『さては此内膳と、偶刺へよと決心おざつたな』

『言ふにや及ぶ、貴殿に心を見るならば、躍りかゝつて引組うと』

『その疑念、更に無理とは存じ申さぬ。さりながら今筑前守殿が旗に屬する者をも滅亡疑ひたい、前田又左、佐々、金森、皆裏切り致さうぞ、見られよ。堀尾殿、此内膳偽りは申さぬわ』と、力を捨つて哄笑した。

新刊書御案内

書名	著者	價
朝鮮法令輯覽	[illegible]	九〇〇
大日本國語辭典	上田萬年	特五〇〇
修正増補漢和大辭典	重野外二名	三〇〇
新選聞書全集	[illegible]	一〇〇
宇宙縮册解說	[illegible]	一五〇
豪侠傳二卷	伊藤痴遊	九〇
西遊スケッチ	和田垣謙三	一二〇
未だ見ぬ親	[illegible]	一〇〇
銀さ盤	日向きむ	八〇
文壇與太物語	[illegible]	六〇
新作御伽學校	少年文學會	六〇
金剛草	漱石	一二〇
新英文解釋研究	山崎貞	七〇
簡易製鐵術	向井哲	一三〇
土木工學上卷	日外五名	二五〇
俳諧日記	俳書堂	五〇
短歌日記	東雲堂	四〇
俳句日記	東雲堂	四〇
文章日記	新潮社	六〇
標準かるた	[illegible]	八〇
同讀取競練習用	東京かるた會	六〇

大阪屋號書店　京城本町　電話二〇八六番　振替京城二五七三

商況

大阪三品

限月		
三月限	一二六、〇〇	一二五、四〇
四月限	一二七、〇〇	一二六、一〇
五月限	一二八、〇〇	一二七、五〇

△廿一日後場　大阪前止五十四錢後寄未著當地中出來不足十一圓十二錢と七錢安に寄付直に〇九錢と押し十一圓十二錢と戻したるも大阪電報遂に來らず[illegible]

と生れ直に氣合せしたるが大阪止電着後寄越に寄せず十一圓十二錢と寄付直に〇九錢と押して動かず大阪新情報なきより強弱共見送りとなり[illegible]

▲本日の現物界　[illegible]

二十一日の二月限

	寄付	
後場	十一圓十二錢	十一圓十二錢

賣買取組高
- 十二月限 一萬七千五百五十石
- 一月限 [illegible]
- 二月限 三萬八千五十石

多く每便數十名を算し而も之等が多く徴兵忌避の壯丁なることは既報の[illegible]

附することを要する規定となり一昨日各汽船會社及び運送業者に通達せ[illegible]

京日案内

◉年賀狀 [illegible] 子供の繪雜誌として最も評判好き東京發行『日本幼年』の新年號には他に未だ類例なき新案の『イロハかるた』を附録として添へたり『イキボヒ』『ロチガセ』『ハヤチ』『ハチキ』『ヤウアナコ』『ツチラコ』『ヘキツトカツ』など[illegible]

◉普通 [illegible]

◉有給女子 [illegible] 携帶本人來談のこと 京城太平通二丁目 朝鮮公論社 188

◉金庫 コツピープレス ヘタイプライター 格安にて讓りたし 姓名在社 187

◉清酒一升に付米一升御注文へ致し升 京城黄金通南前 坂本酒店 184

◉家政婦 妊娠有り [illegible] 急男女募集す 南山町一丁目大和屋方 牧田 185

◉番外 [illegible]

◉乳母入用 身體强健にして年齡廿以上卅八歳以下の者希望者本人來 京城若草町七〇番地 ○高橋 186

内科 兒科 山田醫院 京城本町二丁目 電話二八〇番 81

開始 人力車帳場 岡本組 141

◉賀用 [illegible] 180

忠州 酒井運送店 179

年の餅 米倉軒 166

◉賀 加賀商店 82

質 南質店 電話一〇九六番 118

質 堀佐營業所 京城黄金町三丁目(永樂町停留所北入) 電話六三九番 135

洋家具 堅牢椅子 火鉢 製造 松浦出張所 黄金町三丁目 電話三三五九 154

▲年の餅 賃搗 京城旭町一丁目 電話二二八一番 一六軒 165

歳暮大賣出 格二割引 時計眼鏡煙中電燈及附屬品一式 京城南大門通一丁目 黄金町電車交叉點側 金化堂 176

恩給年金類立替 京城武橋町二十三番地 京城日報社北右に入 電話二二八三番 國江商會 104

女の子の髪にも　男の子の髪にも

髪を黒く……しなやかにし

不思議に髪の艶を増す

日本名物

クラブ香油は

宮内省御買上

皇后宮職御用

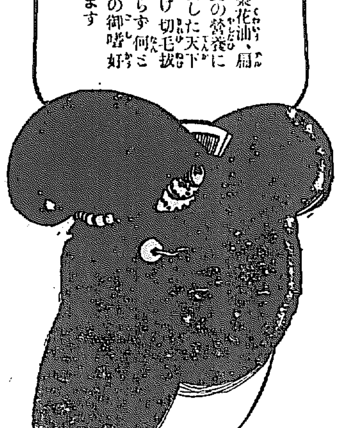
李公家御買上

の光榮ある美髪料

特長

原料と

日本名物クラブ香油は極上の椿油、山茶花油、扇根油、橄欖油等を主要な原料とし更に髪の營養になる薬劑と貴重な香料とを加へて謹製した天下一品の香油で髪の光澤を増し發育を助け切毛拔毛を防ぎフケを除くに卓効あるのみならず何とも云へぬ床しい薫りは最も貴婦人紳士の御嗜好に適し近來各地共非常な賣行きであります



髪には……

クラブキニーネで髪を壁へフケを取り頭を爽かにしクラブ香油又はクラブポマードで更に髪をしなやかに黒くし艶を出してからお結ひになり又お分けになれば御婦人も紳士も自由に調髪が出來ます

MALZEXTRACT HUSTEN BONBON

なにやめる人々 キセンタ

セキドメ ボンボン

"ボンボンでクラクラ" せらるよ

東京神田小川町 和光堂

△効力確實なる爲め醫家に賞讃せられ… △旨味菓子より老人小兒は寄服… △携帶に便なる爲め用事務家旅行家に愛せらる

定價 大罐 廿五錢 小罐 二十錢

眼科 内科 小兒科 入院隨意

京城黄金町三丁目赤門通(電話二四三番)

本田醫院 院長 本田建巻

無代送呈 ばい毒 素人治療

ハガキで申込め内容書……

化學上の新智識を簡易の内服藥に應用せしものにして時日、苦痛、費用をも要せず自宅に於て安全經濟に其效も又偉大なる簡便家庭新自療法なり

東京本所向島小梅町 東京藥化學研究所

醫學博士 室谷修太郎先生述 (萬戸必携の家庭參考書)

家庭衛生及び救急法

最新刊 一名醫者のくるまで 定價 金五錢 郵稅二錢

內容 一、個人衛生 二、傳染病豫防 三、凍傷 四、火傷 五、熱病 六、狂犬病 七、中毒 八、假死(人工呼吸法種々の假死に於ける手術)喝病、電擊、縊首、絞扼、溺水、埋沒、凍冱、毒氣吸入(炭酸瓦斯、燈用瓦斯中毒、泥沼氣)、初生兒 九、人事不省 十、卒倒 十一、痙攣 十二、異物嚥下 十三、外傷、劍傷骨折、脫臼及捻挫 十四、家庭必備の醫療具及藥品

室谷先生は本書の冒頭に左の如くお話されました「家庭に於ける衛生及救急法に就ては申上くることは仲々に多いが大要を記載することにした、幸に置かれたとて別段御損にもならない事かと思ふ」醫者の來るまで素人の救急法は本書を置いて他にこれに優るものはない、室谷先生の御話の一端を拜借して萬戸必携の珍寶として江湖の家庭にお勸め致します

發行所 京城大平通一丁目 振替口座京城三〇〇番 京城日報社代理部